

大正七年八月十九日第三種郵便物認可（每月一回二十日發行）
大正八年五月二十日發行

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

MAY 1919 No. 17.

大 正 八 年 五 月

青 島 實 業 協 會

月 報

第 拾 七 號

△本號要目▽

△統	△倫	△法	△主	△金	△海	△貿	△資	△協
	敦		要		運			會
	銀		貿		及			錄
	塊		易		鐵			
	相		品					
			商					
計	場	規	況	融	道	易	料	事

(中 月 三) 高 入 輸 布 綿 海 上

品 名	三 月			比 較 増(●)減(○)	累 計 (年初よりの)			比 較 増(●)減(○)
	本 年	前 年	月		本 年	前 年	月	
生 金 巾 (日本)	五七四九〇	三二七〇〇	反	二五七七〇	一二二二〇	五八〇六〇	反	五四〇六〇
同 (外國)	一六六九〇	九〇三〇〇	●	七六六〇	四、五六	一七三、五四七	●	一三、〇三一
計	七四、二八〇	四〇、七五〇	●	三三、四三〇	一五四、六三六	二二一、六〇七	●	七六、九七一
天 竺 布 (日本)	四、五四〇	九三八〇	●	三、一六〇	六六、三三五	二四、七三〇	●	四、五九五
同 (外國)	—	三、〇〇〇	○	三、一〇〇	一、五七〇	八、四五〇	○	六、八八〇
計	四、五四〇	二、四八〇	●	三、〇六〇	六七、八九五	三三、二八〇	●	三四、七二五
綾 木 綿 (日本)	五、七八六	八六二〇	○	二、八二四	二六、七七六	一三、八二〇	●	一二、九六六
同 (外國)	二七三	六〇〇	○	三、四七	一、三六一	二、五〇二	○	一一、四二一
計	六、〇五九	九、二二〇	○	三、一七一	二八、一三七	一六、三二二	●	一一、八二五
細 綾 木 綿 (日本)	二六、八八九	四四、九五〇	○	一八、〇六一	七四、〇六一	一〇四、三八六	○	三〇、三〇〇
同 (外國)	四、一五九	一四、四九〇	○	一〇、三三一	八、九二一	三三、三八三	○	三三、四七二
計	三一、〇四八	五九、四四〇	○	二八、三九二	八二、九七七	一三五、七六九	○	五、七七二
シーチング (日本)	二六、七二七	四三、五四〇	○	一六、八二三	六三、六五七	八八、四二〇	○	二四、七六三
同 (外國)	二八〇	六〇〇	○	三二〇	七二〇	四、四〇〇	○	三、六八〇
計	二六、九九七	四四、一四〇	○	一七、一四三	六四、三七九	九二、八二〇	○	二八、四四三
晒 金 巾 (日本)	三、八三六	二七四〇	●	四三九八	八七、四〇	四七、五六〇	●	三九、八六〇
同 (外國)	二〇、五二三	一三四、二五〇	○	一〇三、七二	五、三三五	三八、三八三	○	三三、〇一八
計	五、一三一	一五、一六五	○	九、九三四	一四、三七五	四三、九四三	○	二九、二五八

▽青島實業協會月報 第拾七號 目次△

協會錄事

□五月例會.....	一
□山田領事代理外招待宴會.....	二
□附屬運動部記事.....	三

資料

□山東省に於ける牛皮需給狀況.....	三
---------------------	---

貿易

□青島貿易近況(三月中).....	六
□主要輸出入貨物情勢(三月中).....	六
□民船貿易(三月中).....	七

海運及鐵道

□青島最近出入船舶(三月中).....	八
□內地海運界小康.....	八
□內地備船運賃近況.....	八
□青島定期航値下.....	九
□三驛發著主要貨物情勢(四月中).....	九
□山鐵旅客貨物年度別.....	一〇
□青島港出入汽船細別表(三月中).....	一〇

金融

□銀塊並に爲替相場(四月中).....	一六
---------------------	----

主要貿易品概況 (四月中)

□綿絲布	□砂糖	□燐寸	□煙草	□紙類	□米	□木材	□石油	□落花生實	□落花生油	□棉花	□鹽
□牛肉	□牛皮	□石炭	□コークス	□桐材	□麥稈	□眞田	□小麥				

内外經濟要報

□滿洲特産界諸問題	一七
□本邦絹絲紡績界現況	二二
□銀行發達の概勢	二三
□海運界の變調	二四
□支那主要鑛産	二五
□支那の産炭額	二六
□中日實業の増資	二六

青島雜錄

□獨人と不動産	□昨年度輸出鹽	□土地貸下規則改正	□英米煙草工場増築	□葉煙草輸送數量	□市内鐵
工所調査	□埋立工事進捗	□石炭頒布狀況	□燐寸輸入夥多	□豆粕と葉煙草	□青銅輸送激減
可付數	□建築規則改正	□發電所二期擴張	□水道擴張工事	□電力需要狀況	□大港埋立從業者
東部鹽政	□棉花輸出殷賑	□青島麥稈現況	□章邱出炭増加		□山東

法規

□自轉車取締規則	三一
□山東鐵道沿線ニ於ケル鹽取締規則	三二
□在留日本人風紀取締ニ關スル件	三二

倫敦銀塊相場

□四月中表示	三三
--------	----

寄贈書類

□四月中到著の分	三三
----------	----

統計表類

□青島輸出入貿易	□輸出支那品仕向地別	□輸入支那品仕向地別	□青島驛發著貨物主要品	□埠頭陸上貨
物噸數仕出地別	□埠頭船積貨物噸數仕向地別	□出入汽船及積卸貨物數量	□出入汽船仕向地別	□入
港汽船揚荷噸數國籍別	□出港汽船積荷噸數國籍別	□青島出入船舶旅客	□青島大港兩驛乘降客	□青島屠
獸場屠殺數	□青島物價表			

青島實業協會月報 第拾七號

協會錄事

五月例會

五月例會は豫定の如く十日午後七時市民會内に開會、出席會員左の如し（順序不定）

橫濱正金銀行出張所	吉澤洋行
梶野洋行	中村組支店
鈴木商店出張所	山田出張所
日本棉花會社出張所	原田汽船會社支店
三菱商事會社出張員	朝鮮銀行支店
三井物產會社出張所	大連汽船會社出張所
南滿洲鐵道會社出張所	青木合名會社出張所
日本郵船會社出張事務所	湯淺貿易會社出張所
峯村洋行	福昌公司出張所
東洋鹽業會社支店	大倉商事會社出張所
青島製鹽會社支店	泰利商會
新利洋行	内外綿會社出張所
山東運輸株式會社	

以上二十五名、例の通り晚餐を共にし終て少時休憩、午後八時幹事（茂木合名會社杉浦政芳氏）開議を宣告、書記長の會務諸般の報告は議事の都合に依り之を省略し直に

○小麥及麥粉問題の経過報告

に移り小麥委員として鈴木商店の金子慶治氏より詳細なる顛末

報告あり猶ほ内相談に屬する更に拾萬噸輸出追加問題に關しては夫々御研究の方もあるべく御意見は來月十日迄書記長宛御提出置を乞ふ旨結び

○公會堂建設問題の経過

に就ては橫濱正金銀行の太田保一郎氏より之が消息に關して報告あり、終て

○附屬運動部に關する件

に移り先づ飯塚運動部長より本月一日第四回青島官民運動會に於て協會員各位が實業團の爲め多大の聲援を與へられ本年も亦引續き優勝旗を我が實業團の占むる所となりたるは實業團選手の實力と各位の少からざる御後援とに因るものと信じ此の機會に於て深く感謝の意を表する次第なり猶ほ經費支辨に關しては詳細西岡運動部幹事より御報告致すべしと告げ、西岡氏出席

○運動會に於ける經費

に關し詳細説明し、結局豫算を超過之が補充方法に就て提議あり右補充方法に就ては賛成の聲あり協會幹事よりも右に關し異議なきやを計り協議の結果

一、運動會經費不足額補充法として協會員各自更に銀拾圓を追加寄附すること

一、實業團選手六名宛協會費を以て記念賞品を贈ること

に決定、夫れより

○夏季日永の間日光節約のため營業時間を

午前八時より午後四時迄とし度き件

に就ては提議者三井物產の飯塚重五郎氏より説明あり各員研究の結果本件に就ては協會員（銀行業者を除き）は成るべく之を實行することゝし其の期間を來る五月十五日より當分の内とす

ることに申合せ

○日華協信公司入會の件

は紹介者の一員として中村組支店(代表者原辰治氏)より紹介披露し直に黒白球投入を以て満場に計り開函の結果全部白球即ち入會承認は満場一致を以て可決さる

之にて日程を終り更に希望要項として次回例會は時間を午後六時よりとすること、場所はグランドホテルとすること等幹事の考慮を煩はすことにし次回月番幹事は

日本郵船株式會社青島出張事務所

近澤武男氏

内外綿株式會社青島出張所

佐々木國藏氏

なる旨披露し午後十時散會せり

因に當夜吉見書記長より會務諸般の報告ある筈なりしも議事の都合に依り省略されたるを以て爲念左に記事することとせり

一、本期間(四月中)會計報告

右は月番幹事の點檢を経たり

一、文書及來訪者

右は四月中文書の受付件數百五十七件、發信二百〇一件、來訪者五十二名なり

一、金子氏より禮狀の件

右は過般金子夫人長逝に付協會より金拾圓也香料を供へたる所右に付金子慶治氏より鄭重なる禮狀を送られ猶は該金品は東京市養育院及郷里菩提寺へ夫々分配寄附取計ひたる旨書添へあり此儀御報告す

一、上海日本商業會議所役員の件

右は上海日本商業會議所第一回定期總會に於て大正八年度役

員として會頭に兒玉謙次氏、副會頭に中島虎吉氏外常議員當選者の氏名通知ありたり

一、諸宴會の件

右は三月二十七日糸の家に於て開かれたる松原秀三氏送別會は出席者三十二名會費金二百二十四圓也、四月八日糸の家に於て開かれたる菊池社長一行歡迎會は出席者二十四名會費金百八十六圓八十錢也、四月十一日三浦屋に於て開かれたる片桐篤太郎氏送別會は出席者五十二名、會費金三百五十七圓也以上何れも仕拂を終り會務を完了せり

一、片桐氏より消息の件

右は青島發北京行の途津浦線車中より吉見書記長宛各員に宜敷傳達され度き旨來信ありたり

山田領事代理外招待宴會

小麥問題の一段落を告ぐるあり之が爲め心勞淺からざる諸官招待宴會は五月十日例會に於て夫々打合あり幸ひ山田領事代理出席を機會とし五月十四日午後六時三浦屋に於て開催せり賓客として、秋山民政長官、夏秋總務部長、山田領事代理、福富財務部長、内田秘書官、早川民政署長心得の諸官出席、主人側に在ては横濱正金銀行、吉澤洋行、中村組支店、東亞煙草會社、鈴木商店、山田出張所、東和公司、原田汽船、三菱商事會社、安部幸商店、福昌公司、朝鮮銀行、江商會社、伊藤忠商事會社、三井物産會社、大連汽船會社、南滿洲鐵道會社、茂木公司、日本郵船會社、湯淺貿易會社、峯村洋行、東洋鹽業會社、神戸棧橋會社、岩城商會、大倉商事會社、青島製粉會社、泰利商會、麥酒會社、内外綿會社、南昌洋行、日華協信公司、吉見書記長

等にして席定るや幹事日本郵船の近澤武男氏主人側を代表して從來小麥問題に關し諸官の少からざる配慮を煩はし幸ひ今や懸案を一掃解決したるは誠に感謝に堪わす猶ほ將來御盡力を請ふ旨挨拶し山田領事代理の之に對する答辭あり之より餘興數番主客歡を盡して午後九時散會せり

附屬運動部記事

◎第四回青島官民運動會優勝 五月一日旭グラウンドに於て舉行されたる第四回青島官民運動會中其の最も一般の注目を惹ける各團體責任連結競走に實業協會を代表し上田二三雄(滿鐵)大幸次(岩城)東直衛(内外綿)石崎雅(大連汽)惠藤二郎(岩城)の各隅選手出場、昨春獲得したる優勝旗を莊嚴裡に一先つ返還、更めて華々しく戰鬪したる所善戰遂に一著となり優勝旗は再び實業軍の占むる所となり密集せる内外數萬人の拍手喝采を浴びて直に祝捷會場たる糸の家に到り同志百餘名列席質素なる宴會を開き頗る盛會を極め午後十時散會せり

◎兒玉シールド到着 上海日本商業會議所會頭たる橫濱正金銀行上海支店支配人兒玉謙次氏より豫て當運動部獎勵のため寄贈の華麗なるシールドは愈々調製到着したるを以て之を兒玉シールドと稱し運動部紀念寶物として永く保存することゝなれり



資料

山東省に於ける牛皮需給狀況

◎產地及集散狀況 牛は山東省内各地の農家にて飼育せらるるが殊に牛肉を食する回教徒多き濟南附近及臨清濟寧以西の地に多し而して所謂山東牛は殆ど全部黃牛にして水牛は西南部に少數の飼育あるに過ぎず牛皮も亦各地にて生産せらるるも牛皮加工業地としては沿海地方は濕氣多きため乾燥に稍々不適なるも濟南濟寧附近は空氣良く乾燥せるを以つて最も適當なり牛皮集散市場の主なるものは膠東道にては青島、膠州、即墨、高密、濰縣、青州、丈嶺、芝罘、黃縣、濟寧道にては滕縣、濟寧、兗州、沂州、濟南道にては濟南、泰安、博山、周村、濰口、東臨道にては德州、臨清、東昌等にして就中有名なるは貿易港にては青島、芝罘の二港西南部地方にては濟南、臨清、濟寧等とす、青島へは山東鐵道沿線一帯及濟南より來集し之を海外に輸出し芝罘へは山東半島東部産のもの集り之を滿洲方面へ移出す今大正四年より大正七年に至る青島芝罘二港の牛皮輸移出高を示せば左の如し

青島

芝罘

年次	數量	價額	數量	價額
大正四年(九月以降)	二、六六六	四九、四六六	二、八七〇	一五、九四七
大正五年	三、九七五	一四、三九四	二、五六三	一一、四九〇
大正六年	三、五五四	—	二、六〇九	—
大正七年	四、八三二	—	—	—

備考 — 印は不明なり

濟南は西南部に於ける最も盛なる牛皮集散地にして其附近及

津浦鐵道沿線より來集するもの一箇年約三萬枚と稱せられ鐵道に依り青島及天津へ輸送す大正四年より大正七年に至る山東鐵道濟南驛の牛皮發送及到著高左の如し (單位噸)

	發送高	到著高
大正四年	一、〇九八	三三〇
同五年	九六八	一一三
同六年	一、七五〇	三四八
同七年	一、三八三	四二

津浦鐵道濟南驛に於ける大正七年中の牛皮發送到著高左の如し (單位噸)

發送高	到著高
一、二〇五	一、三六〇

臨清に集散するは衛河の上流及東昌地方の產品にして多くは運河に依り天津へ輸送せられ濟南に出づるもの少し濟寧附近のものは運河により江蘇省浦口方面へ出で一部は濟南へも來る山東省產の乾牛皮一箇年の產額に就ては確實なる統計なしと雖も約二百五十萬斤なりと云ふ

◎種類及品質 種類は大別して牛皮、水牛皮の二種類なるが後者は前述の如く極めて少く又乾濕により區別すれば生皮、鹽乾皮、乾鹽皮の四種とす生皮は屠殺剥皮の儘にて腐敗し易く之に鹽を施したるものは即ち鹽皮なり生皮及鹽皮は製革には能く適應するも重量甚だ大にして運搬に不便なり故に之を乾燥したるもの即ち乾皮及乾鹽皮にして防腐完全なるを以て貿易品たるを得るなり山東產の牛皮は蒙古、湖北、江蘇地方のものに比し形狀大にして品質亦佳良なるが就中臨清附近のもの最も優良なりとの評あり今某専門家の調査による山東牛の長所及缺點を示せば左の如し

(一) 長所とする點

イ 寄生蟲より來る皮膚の傷痕少きこと
ロ 皮の面積大にして厚薄の度比較的平均し且つ他省のものに比し厚きこと

ハ 鞍擦等の皆無なること

ニ 牝牛の屠殺せらるるものは稀なるが而も他省の牝牛に比し一般に腹部膨大し面積大なり

(二) 缺點とする點

イ 鹽水中より引上げ乾燥をなすとき石灰と土砂とを附して重量を増加せしむること

ロ 屠殺の際に生ずる打撲傷を有すること

ハ 剥皮の際屠夫の仕方粗暴のため刀傷を附すること

牛皮の形の大小により普通大中小の三種に區別せらるるが一枚の重量約左の如し

生皮 五〇—一〇〇斤 (脂肪質等を除けば三〇—五〇斤)

乾皮 一三一—二五斤

鹽乾皮 二〇—三二斤

小牛皮 一〇斤以内

水牛皮 { 生皮 四〇—一五〇斤
乾皮 二五—五〇斤

◎用途 省内主なる集散地には硝皮行(製革所)と稱するものありと雖も技術竝に設備甚だ幼稚にして輸出せらるるものは何れも原料皮なり牛皮は革の原料として最も適當なるものにして軍需品其他の用途極めて廣く大なる牡牛皮は主に靴底皮及調帶革等牝牛皮(大抵中皮)及小牛皮は靴用等の原料に適す水牛皮は厚くして表面粗惡なるを以て下等の底革或は雪駄の裏等に使用せらる又革鞣の切屑は肥料に用ひられ製革の際脱去せる毛は毛布

團及椅子の敷革中に填入す

●屠殺方法及改善策等 宗教上の習慣及未熟練なる技術により

隨所に於て屠殺せらるるため其屠殺方法を異にし自然其皮の價値を減損すること尠少なからず本邦の如く一定の場所にて屠殺し

熟練なる技術者をして事に従はしむれば革の價值は固より向上すべく衛生上亦頗る可ならん尤も舊來の習慣を打破するは至難

のことにして又完全なる製革所を設置せんとせば製品の需要狀態及販路を充分考察するの必要あるべしと雖も從來當地方には

製革所と稱するものは皆無にして昨今一般に事業熱勃興し來れる結果支那人中本事業に注目し居るもの多數ありされど資本並

に技術の關係上著手し得ざる狀態にある際なれば邦商の活躍すべき好時機ならんと思惟す嘗て某専門者の調査によれば小清河

(濟南の北部を流れて渤海に入る)の水は製革に適するを以て該河の流域に製革所を設けること有望ならんと云ふ

●出廻時季 毎年十月より翌年三月頃までの間に出廻多く夏季は其數を減すること支那各地何れも大差無し

●取引慣習 買集の方法は店員を産地に派遣することあり或は集散市場に於て仲買人が産地より齎せるものを購入する等普通

物産の買付と異なるなく又取引は通常現金取引にして信用ある相互間には滙票(爲替手形)を用ふることもあり而して不統一の

度量衡のために受くる不便は尠少なからざるが青島及濟南に於て外國商人は封度斤を使用す相場は百斤を以て建とし代金の受拂

には大抵銀元を規準とし大取引には銀兩を用ふ

●荷造 地方産地に於ては大小により數枚乃至十數枚を重ね麻繩を掛け一捆とし搬出す輸出向荷造は乾燥したるものを一枚毎に毛面を内にして上下左右を少し折り込み更に背部の線より肉

面を外にして折り疊み長方形とし之を大小により五枚十枚或は十五枚を重ね麻繩にて緊縛し一捆となす

●濟南青島間運賃及諸掛 濟南青島間貨物大口扱運賃を示せば左の如し

三—五 噸ニ付 運賃(銀)

二九・四〇

六 同

三五・三〇

七 同

四一・一〇

八 同

四七・〇〇

九—一〇 同

五〇・三〇

一一 同

五五・四〇

一二 同

六〇・四〇

一三—一五 同

六二・九〇

濟南驛に於ける積込苦力賃約銀三元青島驛荷卸苦力賃約銀二元を要す又津浦鐵道濟南天津間の運賃は三十噸貨物貨切銀九十元なり

●發送地より日本輸入港迄の運賃及諸掛 牛皮を濟南より青島經由にて日本大阪或は神戸へ輸出するに要する運賃及諸掛百斤に對する割合左の如し

荷造 用 繩

〇・一五〇

汽車 積込

〇・一〇〇

濟南青島間汽車運賃

〇・二二五

卸 運 搬

〇・一〇〇

埠 頭 料

〇・〇二五

輸 出 稅

〇・七八五

保 險 料

〇・一五〇

汽 船 運 賃

一・一〇〇

二六三五

仕向地	數	價
日本	五九四二五 斤量	二七九、五三三 元額
大連	四〇〇	一八八
上海	一〇、九五五	四、三九〇
支那諸港	二〇、一三八	八、二一〇

青島貿易近況
(三月中)

三
月
中

二
月
中

比較

陸揚貨物

三四、八九七、九

二八、八四五・三

六〇五二・六

船積貨物

七七、四九四・七

六二二二・五

一五、一七二。一

計

一一三、三九二・六

九一、二六七・八

二、三、四、八

更に之を昨年同月分と比較するに輸入貨に在りては三千四百餘噸を減せるも輸出貨に於て二萬二千六百餘噸を増加せるを見る蓋し小麥、鹽、葉煙草、豆粕の輸出旺盛なりしは其主因たり

本年三月中

昨年三月中

比較△減

陸揚貨物

三四、八九七、九

三八三二八。

111.011111

船積貨物

七七、四九四・七

五四、八四三・六

二六五。

主要輸出入貨物情勢
(三月中)

輸入貨物中昨年同期と比較し著しき減退を示せる白米は廉價なる江蘇米の爲めに鮮米の輸入が沮止せられたる結果にして江蘇米中の上等品は其品質鮮米に比し毫も遜色無きのみならず價格亦低廉なるを以て大に邦人の歡迎を受け毎月戎克又は汽車により二千噸以上の移入を呼びつゝあり隣寸は當地製品に押され

輸入品は毎月六七百噸に止まるを例とせるが本年二月頃各工場共軸木拂底の爲充分なる製産力を發揮する能はず市場は漸く品不足を告げ市價昂騰せる矢先内地市場投物續出せる爲之等割安品は續々青島に輸入せられ三月中に於て千七百餘噸の輸入を見るに至りたるは近頃珍らしき現象は砂糖は太古、爪哇の活躍に従ひ漸次白糖を排して之に代り昨年と比較するに精製糖は四百六十一噸の減退を示せるも赤糖は反て千四百六十八噸の増加を示せり石油も輸送力の復舊と共にス、亞兩社の活躍となり本月

中五千七百餘噸の輸入を見たり
輸出貨物に在りては米市況不味の爲其大宗たる落花生油、同實の輸出上大打撃を蒙むり又昨年の盛況無しと雖も本月に入りてより歐洲方面に輸出の途開け引續き米市況稍特直したるが如く急に活氣を呈し來りたるも未だ昨年に比し遜色あるを免がれず葉煙草は己に買收時期を過ぎ居れるも英米煙草が残り荷の輸送を爲すものコークスは内地需要の衰退に伴れ先月の如きは漸く百噸の輸出を見るに止まりしが本月は東和公司が昨年の約束残りの内三千餘噸、其他二千餘噸、合計六千餘噸を積出せるあり又豆粕の内地需要は近來著しく増加し昨年に比すれば二千八百九十噸前月に比し二千四百五十九噸の増加を示せり而して原鹽は政府納入終期の爲契約残りを積出し如此活況を呈せる次第なるも一方昨冬來船腹運賃等の關係により兎角控勝なりしものが海運界の情勢一變採算有利となりたるに乘じ極力積出したるに依る

△輸入品

△ハ減其他ハ増

品目	二月中	三月中	昨年 三月中	昨年ト本年 トノ比較
白米	八六四	一〇一三	二四三九	△二四三七
麥粉	六六六	六六六	一九七七	△二五〇九

△輸出品

果實	三六五	二〇六〇	六三三	一四三七
白砂糖	七〇三八	六六六	五八三	△四一八
赤砂糖	九一五五	一六五二五	一八四三	△四六八三
煙草	一、二六五	一、三六三	五五五二	七六〇
石油	三、七七一	五七二七五	四七三九	五、四三六
磷寸	八六二九	一、七五三四	二〇六八三	△三四九
綿絲	二九七九	三、一七四〇	二、六八九	四九二
綿布	一〇、七七一	一、一〇三六	九六七〇	二五五
支那紙	一、二六二	一、七四〇三	一〇、四三	六六〇
金屬製品	三、五五三	六八〇三	七三九〇	△四八七
竹材	一、四九五	一、四三三	一〇、九八七	三三三
木材	二、七六九	三、四〇八八	三、四四二	二六三
燐寸材料	一、四四六	八七六五	五七一〇	三〇五五
洋物雜貨	二七八九	六二九四	六四九〇	二九六
落花生實	一、九二四	三、五二六	七、〇六四	△三五五八
牛肉	一〇、六四八	九九〇一	一、六四二	六五〇
鹽	三、四六三	三、〇六四〇	一、四七三〇	△七三三〇
葉煙草	五、九七八	四、五九三	三、一五	四、五七八
落花生油	四、〇三七	四、六二六	四、八五六	△二五八〇
棉花	三九九	四七二	四四〇四	△三六七
溜川炭	三、〇六〇	九、四八五六	一〇、五八〇五	△一、〇四九
博山炭	七、七二四	六、三〇〇	三、〇二九	△三八八一
鐵	九二四	二九八五	九一五	二〇七〇
豆粕	一、〇四三	三、五〇三	六、一三〇	△二、八〇〇
小麥	六、八四四	六、四九三	六、四九三	△六、四九三
コークス	一〇〇〇	六、〇五七〇	四、一八八〇	△一、八六〇
牛皮	二、四三	四九七二	三、九六	△九七六

民船貿易概況 (三月中)

近來沿岸各地より豆粕、穀、鶏卵、花生實、卑藤子油等の移入旺

盛なる爲め克戎の出入著しく増加し小港海岸は揚荷を以て埋ま
れるが三月中當港移入の主なるものは豆粕の四萬二千八十四擔
を筆頭として豆類、穀、牛骨、高粱、玉蜀黍、米、小麥、鶏卵
麵粉、花生實、花生油、下等紙等何れも一千擔乃至四萬二千擔
に上れり即ち左の如し (單位擔)

豆 粕	四二、〇八四	白黃豆	三、三六四
牛 骨	一、〇六九	穀	九、二五三
高 粱	一、八九七	玉蜀黍	六、三三一
米	四、三二四	小 麥	二、〇九四
鶏卵千個	一、二五〇	麵 粉	一三、五一七
花生實	七、〇〇一	花生油	二、二七五
下等紙	八、一七二	蘿 蔔	一、三三〇
木 桿	二、九四〇	雜 木	三、五六四

移出に在ては花生油の八千六十四擔を最とし豆油の三千百擔、
石灰千六百擔、柳枝千九百七十八擔、白黃豆千二百三十二擔は
其主なるものなり

海運及鐵道

青島最近出入船舶 (三月中)

當月中入港船舶 (汽船) は百二十五隻此の登簿噸數十萬九千
八百九十五噸出港百二十六隻十一萬三千八百八十二噸にして積卸貨
物は入港卸荷三萬四千八百九十七噸九出港積貨七萬七千四百九
十四噸七を示せり而して之を一月以降の累計に徴するに入港三
百二十六隻二十七萬二千八百七十七噸出港三百二十五隻二十七
萬二千二百一十一噸卸荷八萬六千二百二十二噸八積荷二十萬八千
二百四十八噸八合計二十九萬四千四百七十四噸六に達せり之を
昨年三月分と比較すれば左の如し

月 別	入 港	出 港	卸荷噸數	積荷噸數
本年三月中	二五	二六	二〇、三六二	三七、四四七
昨年三月中	二五	二六	二〇、三六二	三七、四四七
比 較	〇	〇	〇	〇

更に入港船舶の仕出地別を示せば日本内地三十六隻大連二十三
隻上海十八隻芝罘六隻其他支那沿岸九隻釜山一隻仁川六隻香港
マニラ各一隻なりとす而して出港船舶の仕向地は日本内地三十
四隻大連十八隻上海二十三隻芝罘一隻其他支那沿岸十隻釜山三
隻仁川四隻香港三隻浦鹽二隻なりとす

内地海運界小康

本邦海運界は歐洲向出荷の期待外れ去月來再び氣迷ひを呈し
居れるが一般財界の小康と貨物出廻り狀況とは斯界に多少の安
心を與へたるものの如く更に近海航路に對する大型船割込に伴
ふ淘汰整理を豫測して一般氣迷裡に一點の光明を認むるに至り
社外船主の如き最近外國よりの買備船交渉に應ぜざるのみなら
ず自營の方針を以て夫々配船準備を爲し居れる模様なり

内地備船運賃近況

一般出貨の減少と共に運賃は益底下の傾向を辿り居れるにも
拘らず備船率は却而反騰の奇現象を呈するに至りたるが最近北
米並に歐洲航路其貨物の流動稍増加し新造船も悉く消化され一
隻の繋船もなく殊に海外よりの備船引合頻々たるに起因するも
のなるべし最近小型備船契約成立せるものは

東隆丸	二、八〇〇	五月末渡	六ヶ月	七五〇〇	日本郵船
鹿島丸	三、五八〇	五月渡	一ヶ年	普通遠洋八、〇〇〇	開榮炭礦
彌彦丸	枕木	四五、〇〇〇	挺	釧路一太沽	、四五
大洲丸	同	一八、〇〇〇	同	同	中村組

美春丸	角材	一〇、〇〇〇石	銅路一濱	角材一六〇、一一	池田
壽寶丸	丸太	一、八〇〇噸	荻一室蘭	丸太二六〇、一一	三井
末廣丸	同	一、五〇〇同	鎮南浦一室蘭	七、五〇	同

青島定期航値下

内地青島航路の復航は常に満船にして往航と雖ども相當の積荷を有せるも近頃臨時船の就航多く隨て運賃も著しく低値を現はせるにより今回郵、商、原田の三社は之等社外船との對抗上往航運賃を平均一割方引下げ復航も落花生油、同實、豆粕に限り引下を斷行するに至れり

新飛雲丸不定期

新たに青島、海洲間定期航路を開始せる新飛雲丸は二三回同航路を往復せるも貨物船客共到底海洲、新飛雲兩定期船の船腹を充すに足らざるにより昨今は石臼所止りとし只貨物輻輳の際のみ海洲迄其航路を延長すべしと

三驛發著主要貨物情勢 (四月中)

本月中青島、大港兩驛及埠頭荷扱所の三驛に於ける主なる發著貨物を昨年と對照するに左表の如く發送品に在りては高粱、砂糖、麥粉の三品を除くの外悉く増加し到著品に在りてはコークス、桐材、牛皮以外總て著しく増加の跡を示せり試に高粱、コークス、小麥、落花生實、落花生油の如き昨年と稍其事情を異にせるものを除き其他に就て見るも約二割の増加にして貿易の盛況を語るに足れり而して小麥の到著數量を見るに前月に比し約千七百餘噸の減少を見たるは銀價の昂騰に制せられて商狀伸びず聊か買物を手控たるによるなるべし白米の著荷が前月の十分の一にも達せざる如き激減を來せるは產地江蘇省に於て急

に移出米に對し制壓を加へたる爲にして之により當地市價を昂騰せしめたるのみならず市中同上等米の影を絶つに至れり其他久敷不振の狀態に在りし落花生實及同油は輸出の好況と共に悉く濟南市場の在荷を吸集し前月の三倍に當る著荷を見るに至れり

發送品

品名	三月	四月	昨年四月	昨年と本年との比較	△ハ減
高粱	一四四	一四四	一四四	一三九	
木材	四四一	四〇八	四〇八	三八九	
鐵製品	四二四	四四〇	四四〇	三八七	
古鐵	七九八	四六三	四六三	三九八	
綿布	五七〇	五二四	五二四	二九四	
綿絲	一六五一	一〇九三	一〇九三	二八一	
石油	二九三	一七九	一七九	八四七	
砂糖	一八三六	一四五六	一四五六	四二八	
雜貨	一九六四	〇九	〇九	四六〇	
麥粉	二二	一六二	一六二	二六	
機寸材料	一八〇	二五二	二五二	七二	
紙卷煙草	一五九	四八〇	四八〇	四六五	
機寸	三六七				
石炭	五五八	七五八	七五八	六三八	
コークス	四六二	三〇九	三〇九	三三〇	
石灰	一〇五〇	一〇七二	一〇七二	四五一	
桐材	三〇二	五三三	五三三	七三五	
木材	三三二	三三七	三三七	二二四	
小麥	七五二	五七六	五七六	五、六六九	
米	一七二	九三三	九三三	二六〇	
落花生實	二六九	六五五	六五五	四、四三六	
落花生油	一四八	四九六	四九六	三、四四五	

業	煙	五五五	五五五	一五五
獸	骨	六〇五	五五五	二〇五
牛	皮	二〇五	七二二	六〇五
棉	花	一八二	一八六	三〇五
牛		三〇五	二五五	一〇五

山鐵旅客貨物年度別

最後の獨逸經營時代即ち大正三年度より大正七年度に至る五

ケ年間に山東鐵道が輸送せし旅客貨物の數量(無賃有賃共)を年度別に對照すれば左の如し但し噸以下切捨て	
年度別	旅客
三年度	一、三二七、四三八人
四年度	一、一七、七六〇
五年度	一、六六一、八六〇
六年度	二、〇六五、六五四
七年度	二、一五九、三五八
貨物	
三年度	九四六、六一〇噸
四年度	八〇五、五七九
五年度	一、〇七四、〇〇三
六年度	一、二八七、七七〇
七年度	一、五一、一二六

青島港出入汽船細別表

(大正八年三月中)

(空船ヲ除ク)

△入港之部

入港月日	國籍	船名	登簿噸數	揚荷噸數	揚荷主	貨物名	仕出地
三月一日	日本	龍平丸	四三一・〇	一四八・一	醬油、食料、雜貨、蔬類	大連	大連
同	同	薩摩丸	六六八・〇	五七八・六	綿絲布、木材、鐵、食料品、雜貨	大連	大連
同	同	日米丸	八二九・〇	三九六・〇	燐寸、綿絲、木材、鐵、燐寸材料	同	同
同	同	波津丸	三九〇・〇	三八八・三	石油、燐寸、鐵、日本酒、燐寸材料、其ノ他	同	同
同	同	長良丸	五八七・〇	七九二・八	麥粉、果實、茶、綿絲布、竹材、其ノ他	同	同
同	同	神進丸	一、三四五・〇	四・二	鮮魚、藥品、雜貨	大連	大連
同	同	益進丸	五五八・〇	二一七・二	麥粉、卷煙草、綿絲布、其ノ他	同	同
同	同	蔚山丸	一、五三六・〇	二七・二	綿絲、石鹼、其ノ他	同	同
同	同	伏見丸	一、七二九・〇	一、七〇三・〇	砂糖、染塗料、鐵、其ノ他	同	同
同	同	第廿五永田丸	七六六・〇	一三六・三	木炭、空罐	同	同
同	同	大德丸	二六四・〇	一〇七・三	木材、燐寸材料、其ノ他	大連	大連
同	同	生玉丸	七三五・〇	一、〇三三・七	卷煙草、燐寸、綿絲、鐵、燐寸、材料	大連	大連
同	同	天潮丸	五三〇・〇	一七〇・四	木炭、石油、空罐、燐寸材料	門司	門司
同	同	龍平丸	七五一・〇	八二一・五	麥粉、茶、綿絲布、支那紙、竹材其ノ他	上海	上海
同	同	龍平丸	四三一・〇	六三・三	味噌、藥品、食料品其ノ他	大連	大連

[illegible]

△出港之部										向本船仕					
出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主	貨物名	向本船仕	出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主	貨物名	向本船仕
三月一日	日本	櫛三星丸	一、三四五・〇	二五五・三	落花生、葉煙草、其ノ他	石炭	上海	同	同	同	二六四・〇	一五一・六	煙草、木材、其ノ他	同	同
同	同	櫻城丸	三二一・〇	七〇・〇	落花生、同油	落花生、同油	神戶	同	同	同	五八七・〇	一、〇八二・三	麥粉、茶、藥品、綿絲布、竹材、支那紙	同	同
同	同	西京丸	五〇二・〇	九六三・六	落花生、牛肉、鷄卵、牛皮、桐材、豆粕、花生油、真田	落花生、牛肉、鷄卵、牛皮、桐材、豆粕、花生油、真田	大阪	同	同	同	五五八・〇	九六六・九	煙草、蠟燭、綿絲、棉花、苳類	同	同
同	同	海州丸	一、五一・〇	一、二四九・五	煙草、其ノ他	煙草、其ノ他	石臼所	同	同	同	七五・〇	一・五	豆粕、高粱、其ノ他	同	同
同	同	江原丸	四二六・〇	三一五・三	果物、鹽、棉花、豆粕	果物、鹽、棉花、豆粕	仁川	同	同	同	七八六・〇	一七四・〇	落花生、其ノ他	同	同
同	露國	モンクガイ號	一、二二三・〇	一七四・〇	落花生、其ノ他	落花生、其ノ他	浦鹽	同	同	同	一、五三六・〇	一五四・二	葉煙草、牛肉	同	同
二日	日本	第三松昌丸	八五五・〇	一、七七〇・〇	石炭	石炭	德山	同	同	同	三〇四・〇	一、一八五・〇	石炭	同	同
同	支那	神戶丸	一、五三六・〇	一、七四〇・〇	葉煙草、綿絲布、棉花	葉煙草、綿絲布、棉花	芝罘	同	同	同	五八七・〇	二五九・〇	落花生、石炭、其ノ他	同	同
三日	日本	薩摩丸	三〇四・〇	三二三・八	牛	牛	上海	同	同	同	八二九・〇	二〇五・〇	穀類、綿絲、石炭	同	同
同	同	長良丸	六六八・〇	一、一八五・〇	落花生、石炭、其ノ他	落花生、石炭、其ノ他	マニラ	同	同	同	五五八・〇	二八・〇	綿絲、其ノ他	同	同
同	米國	ワーレン號	二、五一〇・〇	二五九・〇	鹽	鹽	大連	同	同	同	二六四・〇	九四・一	麥酒、牛皮、綿絲布、棉花	同	同
同	日本	日米丸	八二九・〇	一、二三二・〇	石炭	石炭	釜山	同	同	同	一、七二九・〇	一〇〇・〇	石炭	同	同
四日	同	龍平丸	四三一・〇	二〇五・〇	穀類、綿絲、石炭	穀類、綿絲、石炭	同	同	同	同	一、三三七・〇	一、九六〇・〇	石炭	同	同
同	同	益進丸	五五八・〇	二八・〇	綿絲、其ノ他	綿絲、其ノ他	同	同	同	同	二四八・〇	二二一・五	金屬製品	同	同
同	同	波津丸	三九〇・〇	七五八・四	鹽	鹽	同	同	同	同	七六六・〇	一、〇五〇・〇	鹽	同	同
五日	同	第廿五永田丸	二六四・〇	九四・一	麥酒、牛皮、綿絲布、棉花	麥酒、牛皮、綿絲布、棉花	同	同	同	同	一、〇〇〇・〇	一、〇〇〇・〇	石炭	同	同
同	同	蔚山丸	一、七二九・〇	一〇〇・〇	石炭	石炭	同	同	同	同	二四八・〇	二二一・五	金屬製品	同	同
五日	日本	立山丸	一、三三七・〇	一、九六〇・〇	石炭	石炭	同	同	同	同	七六六・〇	一、〇五〇・〇	鹽	同	同
同	同	海王丸	二四八・〇	二二一・五	金屬製品	金屬製品	同	同	同	同	七六六・〇	一、〇五〇・〇	鹽	同	同
六日	同	伏見丸	七六六・〇	一、〇五〇・〇	鹽	鹽	同	同	同	同	七六六・〇	一、〇五〇・〇	鹽	同	同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

金融

銀塊竝に爲替相場
(四月中)

△銀塊 本月中倫敦に於ける相場は最高四十九片四分の三最低四十八片十六分の十一とす

△爲替　日本向電信爲替は月初百五拾參圓七拾五錢を以て始まり最低百五拾貳圓より漸次昇進し月末百六拾壹圓七拾五錢當月中最高相場を以て終りたり蓋し平和の爲め歐米向食料其他の輸出甚だ多かりしにも不拘未だ輸入少きと當地の如きは近來日本綿絲の輸入少きに拘はらず落花生油の輸出再び盛なりしを以て輸出爲替の取組るゝ有様なり蓋し支那各地共同様の

傾向を示したるなるべし先月末より英米間爲替相場下落したるを以て支那より英佛國向相場は米日向相場に比し騰貴甚しかりしが月末に至り多少舊情に復するの傾きありたり

△金融 上海に於ける金融は月の進むに従ひ緊縮したるを以て當地濟燕公所上海向五日目拂手形相場は九百四十六七兩を唱へたり又蘭の買出時季に向ひたるを以て墨銀の相場日に騰貴し從て當地より濟南向相場も昇進の一方に傾けり

主要貿易品概況 (四月中)

◎綿 絲 布

△綿絲 海外市場愈不需要期に接近せる爲め一向買氣無きと久敷云々されたる品拓も漸次緩和の傾向ある等に依り月切大阪定期市場は氣迷ひ伸惱みの姿にあり當地もひいて市況引立たず只必需の小口買あるのみにて不振閑散の状態にありき然るに中旬に至るに及び米綿高株式高にて阪神市場の好勢尻を受けたる當地は更に爲替安を迎へて久方振に阪地と出合ひを見るに至り日本絲の入荷多く一方問屋筋も三品高に對する樂觀の見込買を發したる爲め商盛を極めたりき月末に至るに及び輸入爲替の低落益々甚だしく奥地實需筋は早魃の爲め農作悲觀等により一向買氣無く一般商館筋も爲替尙一段安を見越せる狼狽的賣焦りをなせるより相場漸次下向調子となり月初め十六手扇面百七十五兩五匁見當のもの月末百七十一兩見當迄落込みたり

△綿布 綿絲の不況に伴れ綿布も亦同様九龍月初六兩二匁五分より月末五兩九匁見當に下落せり

◎砂 糖

○綿絲 福助(二十手)		十日	廿日	卅日
扇面(十六手)		一八五・五	一八二・〇	一七九・〇
紅月(同)		一七九・〇	一七三・〇	一七〇・〇
銀月(同)		一七六・〇	一七四・〇	一七〇・〇
○綿布 粗布九龍		一七九・〇	一七五・〇	一七三・〇
天竺菊		六・二五	六・一五	五・九
		三・二〇	三・一五	三・一

先月末頗る閑散を呈せる砂糖界は太古物下等品の在荷潤澤なりし爲め市中相場伸惱み上、中旬共殆んど手合行はれざりしが月末頃市中在荷薄と共に急に買氣付き相當先物手合ありて瓜哇太古共著しく在荷の拂底を告ぐるに至れり相場も瓜哇糖の値上げと共に自然市中相場を吊上げ四溫糖六兩五匁より七兩と上押先強氣配にて本月を終れり

◎燐 寸

月初内地市場黃燐投物續出せる爲め之等の割安品は支那商人の手によりて續々當地に輸入せられ其額五六千噸の多きに達し近頃珍らしき現象を見せたる爲め市中在荷潤澤となりたると月中より月末にかけ銀價漸騰の餘響を受け内地に於ける兩呼値下りたるとにより當市場は月始より始終下押弱氣配を辿り來れるが月末に至り内地方面幾分原料高と工場の一部が黃燐より安全に轉ずるものありたるとにより相場も持直し底強保合を見せたるが青島は當地の製品と日本輸入品とにより茲濟南とも聊か食傷の氣味あり商談亦渉々しからず相場は月始二十八兩より月末二十六兩七八匁迄下押せるも濃霧期に入りたる爲め實需買に止め大口買付を爲すもの無く市中在荷約三千餘噸に及べり

◎煙 草

口付紙卷煙中最も日本人の嗜好に適し好賣行を示せる東亞の敷島は原料供給不充分の爲め三月以降引續き品拂底にして稀に十五六箱の入荷あるも忽ち消化せらるゝの有様なれば同品の品切れ中朝日は之が代品として急に著しく賣行を増加し四月中百七八十捆内外の賣行を示すに至れり其他「スピア」は日支兩國人の嗜好に投せると比較的廉價なる爲め需要の漸増を見たるも同會社に於ては此際奥地方面販路開拓の目的を以て景品付賣出しを開始せり而して「スピア」と同一階級にある英米の「ニューヨーク」「イーグル」南洋の雙喜、大喜等何れも支那人間の評判よく近頃悔るべからざる賣行を示しつゝあり

◎紙 類

前月來引續き軟調崩落の氣配を示せる内地製紙界は幾度か卸商より値下の請求を爲し會社筋は原料高の理由の下に強硬なる態度に出で來りしも大勢已に非にして市場はデリ／＼と安値を現はし模造紙三十七八錢ザラ紙八圓臺割を見するに至れり而して當地もザラ紙十圓五十錢より十圓と落込み尙内地相場に伴れ前途の軟弱を示し居れるが需要時期を過ぎたる今日より夏期を通じ年中の閑散時期なれば纏まりたる賣行無く市況頗る閑散なり

◎米

江蘇米上等品は需要の増加に伴れ漸次品薄となり従て價格の昂騰を促し二百磅入二十一圓と高値強保合を見せ鮮米との値開き接近せるにより再び鮮米の需要を呼ふに至れるが是等は極め

て微々たるものにして依然青島市場は江蘇米により調節せられつゝありされど同上等品の輸入品が幾多の事情により減少せるは事實にして當地支那米商が先高を見越し遽かに之か買占めを爲せるも亦賣價を昂騰せしめたる一因なりと目さる

◎木 材

冬期を過ぎ建築界漸く活躍の時期に入れる爲需要遽かに増加し各材木店共一體品薄の狀態に在りされど安東材は產地高の爲輸入するも引合はず鴨綠江材は支那材木高により大角のまま輸入されつつあるも板、小刻としての採算不利なれば勢ひ北海材の到著を俟つの外策無かるべしといふ而して產地は相變らず注文輻輳し居れば同材の著荷は來月初期なるべきも久敷品切狀態に在りたる矢先著荷は忽ち消化せられ再び品薄を告ぐるに至るべし相場は產地高を稱ふれども運賃の低落と銀價の昂騰により調和せられ市況強調を持しつつ保合居れり

◎石 油

△日油 内地拂低狂騰相場以來久敷輸入不能の狀態に在りし輕油は近頃銀價の昂騰により輸入の間隙を採へ本月豐榮洋行の手により青全勝赤全勝を併せて四千箱の輸入を見るに至りしか先に岸商店梶野洋行の苦心により折角開拓されたる販路も日油の輸入杜絶と共に中斷せられず、亞兩社の勢力圈に歸したる今日前年の盛況時代に再轉するは頗る困難なるべしと觀測せらる
△外油 輸送力の回復と共に毎月巨額の輸入を爲し貯油の豊富を誇るに至りしか昨今漸く日永需要減退時期に入りつつある事とて多少賣行の減少を來せり
月末相場左の如し

日油膏全勝	五、七〇	同	亞社	僧帽	五、八五(裸四、八五)
同赤全勝	五、六〇	同	テキサス	星印	六、二五
外油ス社美阜	六、二五	同	同	幸福印	六、一五
同同	虎	六、一五	外油	鷹	五、八五(裸四、八五)

◎落花生實

油の活況に伴れ落花生實も内地一齊買進みたれば相場は漸騰の歩調を辿り茲月始六圓七十錢より月末七圓七十錢と上放れ市況頓に一變勢なからざる輸出を呼ぶに至れりされば一時夥しき數量に上れる濟南市場の滯貨も殆んど消化し盡されたるもの如く月末CIF十三圓五十錢茲七圓七十錢と強保合へり

◎落花生油

一時悲觀的狀態に陥り十二圓臺を稱へたる同油も歐洲筋買氣付さたる爲市況稍活氣を呈し前月末十六圓迄持直したるが引續き米市況回復と共に漸次好化し日本へも相當注文入りたるものの如く相場も急に七八圓の暴騰を示したれば當市場も遽かに活氣付き賣越に對する買埋と新規商談との爲め旺んなる手合行はれ相場は月末十九圓迄上押近頃になき活況を呈せり

◎棉花

本年の米棉作付反別減少せると平和後の需要を見越し米綿相場は漸騰の歩調を辿り居れる爲め支那綿殊に北方綿の先高見越買付あり阪神間の在荷著しく減少せるが此方面に向つて天津筋及青島より相當賣浴せたる結果一時三十七弗弱みを唱へ尙下り氣配に在りたる青島相場を四十弗迄吊上ぐるに至れり

尙本年は降雨尠なき爲め作付反別に影響するの嫌あり穀雨節後二週間に降雨無ければ播種土大なる手違を生ずべしとの恐

怖より產地筋の腰強く一體賣惜しみ居り地方消費量亦尠なからざる量に上れる爲め濟南市場在荷漸減相場は月末四十弗見當を唱へ強氣を含めり

◎鹽

市場は春鹽の出廻り漸く旺盛となりたるも政府注文到著せず各商店共昨年の狀況に鑑み先高見越にて思感を試むるものあるも浮腰にて纏まりたる商談行はれず只管政府納入の消息を俟ちつつあるものの如し相場は先物六圓二十錢現物六圓三十錢を唱ふるも目先の變動測定し難きものあり近く政府納入命令の發表により如何なる變化を來すべきかは頗る興味を以て期待さる

◎牛肉

枝肉の内地輸出は前月來著しく減少せるも尙六百七十八頭を算し昨年比し二百六十三頭の増加を示せり開治洋行の麻尼刺輸出は二千八百三十六頭に達し從來比なき記録を示せるが之に佛蘭西行八百五十四頭を加へ本月中合計四千三百六十八頭の輸出を見たり

◎牛皮

内地市況は留相場下落と共に露國向商談振はず不況裡に本月を終りしか當地相場は却而反對の現氣を呈し各皮を通じ更に二兩見當の高値を現はしたると日本向爲替惡しかりし爲め輸出不利となり一般買控の態なりき

◎石炭

淄川出炭引續き思はしからずして自家用燃料炭に迫はれ粉炭

以外の市中供給全く不能の状態に在りたるを以て餘り多からざりし當地の貯炭は各種炭共殆んど消費盡され昨今著しく品拂底を感ずるに至りたるが僅かなる撫順炭の輸入のみを以てしては到底需要を満足せしむる能わざるにより三井洋行に於ては本月中二千餘噸の開平炭を輸入せるが其賣行頗る良好なりといふ而して日本炭は地元値段高くして運賃の多寡を論せざる戎克歸り荷以外採算上輸入不能の状態に在るを以て差當り開平炭以外に之が補給を求むるは困難なるべし各種炭の月末相場左の如し

撫順塊炭 一八、〇〇 筑豊雜塊炭 一六、五〇

開平塊炭 一七、〇〇

◎コークス

内地精鍊業の不振と共に需要は極端に減少し相場も十圓以上の下落を示せる爲め博山物は採算引合はず却而石炭の儘輸出さるる方遙かに有利なる有様なれば新規商談は容易に行はれざるべく獨り東和製優良品のみは此程度比較的薄く今尙約束残りを積出しつつあるも之とて昔日の面影なく市況全く沈衰の方なり

◎桐材

山東省内の桐材は殆んど切り盡され目下市場に出廻り居れるは大部分河南材なるが昨今の如き銀價の騰落甚だしく目先の變動測定し難き場合は奥地との通信連絡全く取れざる河南省地方に入り込み買出に従事するは頗る困難にして不測の損失を招くこと珍らしからず而して内地輸出の如きも殆んど銀價の騰落により盛衰を示し居れり昨今の如き爲替相場を以てしては商談到底行はれず唯僅かに必需筋の買付あるに過ぎずして頗る閑散を呈せり相場は上物才十一二錢見當を動かす

◎麥稈眞田

戰後船腹の容易に手に入ると共に米國筋が麥稈眞田のシーズンに向ひたる爲青島に於ては怡和、三井、和記の各洋行共齊しく買進み本月中二千餘箱の取引ありされど歐洲筋引當の天津市場は比較的閑散なるに引替へ日本需要は三月末頃より遽かに増加し相當の輸出を見るに至りしが銀價昂騰爲替不利の爲安値買付出來ず四月末に至り稍ダレ氣味となり獨り米國筋の需要によりて市況を維持せり

◎小麥

月初頃輸入上海粉に壓倒され内地に於ける麥粉滯貨夥しく期米も幾分安値を現はせしかば製粉相場も其に伴れ伸縮み六圓四五十錢見當を唱へ弱氣を示し居り皆目新規注文入らざりしが中旬に入り上海粉の歐洲向大口輸出商談成立せる爲稍持直し七圓見當の注文入りしかば當市場も三圓三十五錢より三圓五十錢と跳ね稍活氣を呈するに至れりされど山東の農家は天氣續きの爲本年の麥作を氣支ひ一體に賣惜しみ居る故奥地よりの出荷は比常に減少せるが下旬に至るも尙降雨を見ざりし爲殆んど賣物無く纏まりたる手合行はれず然るに内地相場は漸騰二十七八日頃七圓五十錢の入電あり先高見込にて強含保合中本月を終れり



内外經濟要報

◎滿洲特産界諸問題

流石に特産物の滿洲だけありて大豆を主とする諸問題は年中間斷無く繼續され殊に埠頭の火災により前年來常に脅威を蒙り今回僅に滿鐵の見舞金提共により小康を得たるも所謂當面の對策に正り根本問題は依然として存在せり

▲原因探究 埠頭火災の原因が何れにありやは屢々繰返されしも未だ遂に要點を獲る能はざりし處放火狂の行動としては餘りに規則的に餘に巧妙なり又保險金額と現物相場との値鞘を利する爲めならんとは一頃唱へられたるも是又只今に至りては理由無きこととなり或は獨探の所策にあらずやとの風説も又認め難く汽車煤煙による火災との風説も或はあり得べくして之を確むること困難なり曰く何曰く何と指を戻し來れば十數説の多きに及ぶも其の果して何處にありやを判斷するに苦しむ埠頭監視方法の更に改善すべきを傳ふるもの多しと雖其の原因如何が確め得られざる限り之が對策は得べからず今後火災に關する第一の努力は原因の探究にあり滿鐵は勿論警察方面に於ても之か爲め多大の犠牲を拂ふも差支なかるべし

▲保險會社 昨年來火災續出十七回に至りては埠頭野積場を危險區域として認むるは事實上止むを得ざる處にして保險解除の責任を保險團にのみ問ふべからざるは勿論なりされど火災毎に保險解除問題を惹起し滿洲經濟界を動搖せしむるに至りては特産銀行滿鐵各不安に堪へざる處根本的對抗策としては滿鐵は宜しく保險を兼營すべしといふあり又一火保險會社を設立すべし

との説あり滿鐵の保險兼營最も可なりと雖も之には定款改定を必要とし政府側の意響又容易に纏り難きもの無しとせず故に資本金一千萬圓以上の一大保險會社を起し滿鐵は株式の半額殘半額は特産商に於いて引受け實際上相互の保險と爲し滿鐵沿線は悉く保險を附し尙進んで北滿北支那全體に亘りて營業するに於ては頗る有望なりとは當業者の説く處なるのみならず滿鐵も保險兼營の手續を脱れ負擔を軽減することを得て所謂一舉兩得といふべし滿鐵及び特産商は協力一致具體的研究を爲して可なるべし

▲倉庫と混保 大豆混合保管は大豆保管率を増大し野積場の利用を一層有效ならしめ取扱の手續を簡單にする等多大の便利を與ふるものなるも現在の野積場の如く火災の危險甚大なる場處に於て野積のまゝ混合保管を爲さんとするは甚しく不安を感ぜざる能はず此に於てか埠頭倉庫の擴張急施は獨り一般貨物の收容上必要なるのみならず大豆混合保管に取りても最も緊要とする處にして或は殆ど離るべからざる關係を有すといふも可なり滿鐵側の説明によれば倉庫擴張急施は滿鐵に於ても希望する處或は追加豫算を以てするも可なるも何分敷地の拂底は如何とも爲すべからずといふ果して然らば軍用地區處分問題の如き先滿鐵をして手を染めしめ滿鐵の必要なるだけを分割し他は一般に之を開放するも可なり營利的會社の新しく設立をされて軍用地區處分に當るよりも滿鐵か其の必要上之に手を下すは極めて好策なる上市民を満足せしむべきものあるべし

▲豆油混保 大連油房の豆粕製造高は需要の繁閑により又支那人勞働者の狀態により差あるも一箇年を通じて毎日八萬枚以上豆油も亦二萬噸乃至三萬噸の間を往來すべし斯の如き大量の豆

油が製産するに拘らず未だ具體的に保管方法の研究されたること無きは寧ろ怪しむべきことにして昨年來漸く豆油混合保管の必要が識者間に認めらるゝに至れり大連の豆油は三泰油房日清油房の如きは其の品質の優良を以て誇ると雖も輸出向として實際取扱はるゝ場合に於ては他の製品と混同して扱はれつつあり分折上には幾分優劣を認め得らるべき者も肉眼鑑定にては沈澱物の多少色素の濃淡等の外之が鑑別に苦む状態にて大連産油の品質は略同一なりといふも可なるべし故に將來豆油混保の實施の際には等級査に關し異論あるべく又海外輸出に於て同一取扱を受けつゝある以上強いて此の必要無きこととなり寧ろ混合保管の前提として豆油精製事業の急設を緊要とすべし（別項豆油混保の要參照）

▲精製及試験 大連は世界に於ける製油地として斯界に重きを爲すに係らず豆油に關する諸般の研究及び再製事業は意外にも不振にして現在製油業の狀態も亦僅に手工業を離れたる程度にありて純然たる工業と目すべからざるものあり嘗て昨年中米國油業者より品質統一に關する提議を受けた際我が大連の當業者は斯業進歩の程度か之を統一するとの困難なる事情を陳べて猶豫を乞ひたる不名譽は何人も未だ忘れざる處なるべし當時豆油試験及び再製事業を起すべしとの説ありしも今や殆ど立消の姿となりたるは甚だ遺憾とせざるべからず大連の斯業者は自家製品の世界的商品としての地位を向上せしむるに關し豆油混合保管と共に慎重にして且急速なる施設に出づるの必要無きか尙食料問題の一として又滿洲特產物利用増進策の一として高粱及び包米に關する諸般の研究をも爲すは最も必要のことに屬すべしと

◎本邦絹絲紡績界現況

本邦に於ける紡績絹絲及び紬絲の用途は縮緬類の横絲及び銘仙及び紬織横絲又は絹綿交織等其主なるものにして絹絲のみを以て優秀なる製品を出す能はざる状態なるにより使用の範圍甚だ廣からずと雖も其製品は細太何れも自由且輕量品なるか故綿絲と相俟つて其

▲需要増加 すべきは想像に難からず紡績絹絲及紬絲の製品は生絲に對し遜色あるが故に一種輕侮の念を以て之を迎ふる傾向ありしと雖も使用上便利の點あるより絹絲交織及び紬の綿絲交織等は益々其需要を増大するに至れり是れ價格比較的低廉なるが故生絲代用品としてのみならず基本原料として之れを凌駕するものあらざればなり又現在内地に於ける

▲番手用途別 是需要の如何により一定せず本練半練紬向絲紬絲等に大別し得べく番手より分類する時は絹に於て六十五番八十番百番百二十五番等多く紬絲に於ては二十番手前後のもの多し而して本練百二十五番内外の紬物は尾州及び足利地方の交織百二十番「ブラシデン」八十番内外のものは絹絲交織及び御召類の横絲二十五番内外の太物は多く縫絲に使用せられ又半練物五十番百番及び紬絲の二十四番二十八番等は縮緬の横絲又は紬織に使用せられ用途最も廣く絹紡七十番乃至百二十番位の紬物は伊勢崎物に多く使用されつゝあり尙過去數年間に於ける斯業の消長は左の如し（運轉噸數及製造高）

△絹絲紡績

鍾數

製造高

大正元年
大正二年

七四、〇九八鍾
七八、七四九

三三〇、一七四貫
三一、九六一

大正三年	八四、〇一八	二九七、九九七
大正四年	八三、四二七	二九四、六〇七
大正五年	一一〇、〇一八	二一六、四五四

大正元年	二七、一九五鍾	二〇一、二三一貫
大正二年	二七、七九五	二四〇、六〇六
大正三年	二八、四二四	一八一、二一三
大正四年	二八、六〇〇	一八二、四六九
大正五年	三八、七七四	二二五、四四二

而して大正六年度に於ては

▲戰事の關係 により英吉利伊太利等の生産著しく減少せるに反し印度方面の需要は更に減退せずして増加を示し本邦より多數の輸出を見るに至りしため新會社の設立を見るに至りたること前既に述べたる所の如しと雖も器械類の設備等戰亂のため意の如く准拂せざるものあるにより會社の増加せし割合に其生産を増すに至らざるなり最も多數會社の中には絹紡のみのものもあり又紬及び毛織原料類を主とするものあり随つて製品一樣ならず輸出向と内地向とにては又

▲製品に相違 あるに依り各其需要の狀態に應じて製造しつつあるものの如し而して現在吾が國に於ける總鍾數を全世界の鍾數に比較する時は約二割五分にして本邦綿絲鍾數百八十餘萬鍾に比較する時は一割に達せざるなり而して之れが原料の供給を見るに世界に於て使用せらるるものの大部分は東洋の産に係り伊太利佛蘭西其他歐洲諸國の蠶絲業地より產出する屑物類は其生産總額を以てするも尙は歐米現在に於ける絹絲紡織業の消費すべき三分の一を支ふるに過ぎず故に

▼原料の方面 より之れを見る時は歐洲に於ける斯業が今日の盛大を致せるは吾が國より八百餘萬圓支那方面より七百餘萬圓

伊佛其他より三四百萬圓の原料供給を受け漸く五十餘萬鍾の機臺を運轉しつつあるものといふを得べしと

◎銀行發達の概勢

經濟界の膨脹に連れて銀行業の發達すべきは自然の趨勢なるが今次發表されたる大藏省銀行局調査大正七年六月末日現在全國銀行統計によれば特別銀行拂込資本金に於ては六年同期に比し二千二百餘萬圓五年同期に比し三千七百餘萬圓を増加せり殊に正金銀行は今年定期總會に於て資本金四千八百萬圓を一億圓に増加するに決し臺灣銀行は既に株金全部の拂込を終へ朝鮮銀行も新株拂込を徴收し居れば現在に於ける特別銀行の拂込資本金は更に増大し居れる譯なり次に普通銀行拂込資本金は六年同期に比し五千九百七十餘萬圓五年同期に比し九千三百餘萬圓の増加を示し居れり大正七年六月末日に於ける特別、普通、貯蓄銀行資本金、未拂込資本金、積立金等を示せば左の如し(單位千圓)

銀行名		公稱資本	未拂込	積立金
特別銀行		二九、九五〇	六九、三七三	一〇八、八四八
普通銀行		七一、五〇五	二四〇、六九七	一五〇、九六六
貯蓄銀行		二四三、七八〇	八八、九四九	五六、〇六三
總計		一、二五五、二三六	三九九、〇二〇	三五一、八七九

即ち各種銀行の拂込資本總額八億五千六百二十一萬六千圓に達するに至れるなり而して三種銀行の拂込資本金増加の趨勢は左の如し(單位千圓)

	特別銀行	普通銀行	貯蓄銀行
五年六月末	一七三、五九八	三六三、三七四	一二三、二九五
六年六月末	一八八、二七四	三九三、七六八	一二九、九五四
七年六月末	二三〇、五七七	四七〇、八〇八	一四四、八三一

右表の如く銀行は大正六年六月より大正七年六月に至る一箇

年に於て殊に著しき發達を遂げたりこれ健實なる一般既設事業の増資擴張一段落を告てより銀行増資の風潮盛んなりしも現實に拂込金を徴收し又は増資を決定したるは六年六月末以降に屬し居れるを以てなり銀行營業の方面に於て顯著なるは普通銀行の手形貸出、普通貸出、各種預金の増加にして手形貸出金四億一千九百萬圓、普通貸出金六億一千四百萬圓、各種預金十一億三千三百萬圓の増加を算せるが手形貸出、一般貸出の増加は預金増加の趨勢に伴はずこれ貸出業務の稍不振なりしことを立證するものにして大正六年六月末に終る一箇年に於ては預金の増加は七億六千餘萬圓なりしに拘らず普通貸出金十二億六千四百萬圓手形貸出金六億五千三百萬圓の著大なる増加し居れるなり勿論單に六月末日の貸出金及預金を比較して直に全年度の營業趨勢を卜知し得ざることは言を俟たざるどころなれども昨年度は概して貸出方針に手心を加へたる傾向あり會々七年六月末の對照表に於て其傾向を現出したるものと解し得ざるにあらず終りに同調査による七年六月末貸借對照表を示せば左の如し(單位千圓)

金銀在高

特別銀行

普通銀行

貯蓄銀行

七年六月末	七五一、四五四	二九五、四六五	五一、八七四
六年六月末	五九九、八四〇	二二三、八二一	三七、八四〇
五年六月末	三一四、三六〇	一四四、六八二	三〇、五六二

預ヶ金

七年六月末	四八九、一七一	二二〇、八〇四	二三八、五四二
六年六月末	二一八、八二六	一四一、八七四	一七五、九八一
五年六月末	一八九、八六九	一一五、三六七	一二八、〇三八

預金

七年六月末	一、九九七、二八	三、八〇六、〇五二	一、〇八四、八三三
六年六月末	一、一一一、五〇二	二、六三七、八〇四	七八一、七四八
五年六月末	六六二、〇一〇	一、九一三、六七三	五九七、〇一四

積立金

七年六月末	一〇八、八四八	一五〇、九六六	五六、〇六三
六年六月末	九七、二九一	一三八、〇四三	四八、三九〇
五年六月末	八九、一三八	一三一、〇五七	七四、一五七

◎海運界の變調

最近に於ける海運界の趨勢は反動時期の現象として頗る變調を呈して居る即ち(一)運賃は遠洋航路の激落せるに反し近海方面に比較的強含みなる(二)傭船料が運賃に比し割高なる(三)大小型の傭船料が相接近しつつあるとの三大現象にして而も此の傾向は漸次顯著ならんとしつつある事である

▲遠洋運賃 海上運賃は戰爭終熄以來一齊に激落せるが就中歐洲北米濠洲三航路は著しき奔落を演じた即ち倫敦行雜貨運賃は休戰當時迄一千志なりしものが翌月中旬八百志に同下旬には六百志に低落し其後順次つるべ落しに二月上旬に二百志となり又四月中旬には九十志と昨年十一月の十一分の一以下に慘落した濠洲航路も昨年六月迄は二百八十志を唱へたるもの八月二百五十志となり本年一月に百五十志に下り四月には五十志と高値の七分の一に激落せるが太平洋海運の如き雜貨八圓と一時の十八分の一以下の率で載貨を漁つて居る又北米航路も一時四十八弗を唱へたるもの最近にては社船十五弗となり社船は六圓内外を唱へ居れる有様に遠洋航路の運賃激落の程度は實に慘憺たるものである然るに之に反し

▲近海航路 は比較的強調を維持し標準運賃たる門司橫濱石炭運賃は四圓丁度を唱へ戰時中最高値の十一圓五十錢の約三分の一の低落を演ぜるに過ず此外木材豆粕等の運賃も略之と同率の低落を示してゐる斯の如く遠洋航路の如く高値の十八分の一以

下に激落し近海が比較的打撃少きは要するに休戦に依る世界的貨物の流動停止し荷動き閑散なると大型船のスペースに過剰を來せると英米の海運政策の犠牲となり世界的に遠洋運賃は突飛安を餘儀なくされし結果なるも近海方面にありては比較的英米海上運賃調節の影響僅少なりしと近海方面の航行範圍擴大せられ相當近海船の需要あるに因り右の如き變調を呈せるものである此の運賃市場の亂調子は直ちに

▲**備船關係** 變態を及ぼしてゐる即ち運賃殊に遠洋航船の突飛安は英米海運政策の人為的壓迫による不自然の現象にして現在の船價にて換算すれば運賃は現行率より餘程の高率に上らざるを得ない又相當高値の船舶を所持し船員消耗品等の諸貨増加せる今日に於ては到底採算不引合を免れぬから運賃は如何程安くなつても備船料は其の割合に低落しない船主の立場になれば現在の運賃で自營するよりも又現在の運賃で割出された備船料で貸船するよりも寧ろ繋船した方がよい事となるから船主の鼻息が荒くならざるを得ない是れ備船料は大體に於て運賃に逆行するの所以である

▲**變調顯著** 斯く遠洋航路の運賃と近海運賃との開きが甚だしく備船料が運賃安に逆行するの結果船舶は大型船に過剰の度を強め近海船は餘り過剰でない事となり一時は大型船中型船小型船と船型の大小により備船料に多大の差違が漸次緩和されんとして居る即ち此の率を表示すれば

船型	最	高	休戰當時	現在
大型船	四七、五〇錢	三七、〇〇錢	八、五〇	
中型船	三八、五〇	三三、〇〇	七、五〇	
小型船	二九、〇〇	二四、〇〇	七、五〇	

にして最好況時は各船型間に十圓内外の値開きありしに拘はらず其後漸時接近し現在にては大型船と中小型との間に僅に一圓中小兩型は同一となつて了つたから或は今一息で各型とも同一率となるかも知れぬ兎に角斯かる大變調が今後益その度を強めんとしつゝあるは注目に値すと

◎支那主要鑛産

支那の鑛産は世界著名のものにして將來新式の採掘方法を採用するに至らば海外輸出を増加すること甚大なるべし今現在輸出鑛産の重要なものを擧ぐれば

▲**金鑛** の分布は頗る廣く就中黑龍江の大金鑛は江の右岸に吉林金鑛は鴨綠江及び圖們江支流々域に又奉天の金鑛は遼河地方にあり雲南新疆及び長江の上流にも大金鑛あり蒙古に於ても又豊富なりとの想像あるも實際の狀況は不明なり其他甘肅崑崙崙南山等の地方にも均しく砂金鑛の散在せるものありと雖も開掘せられざるもの多し滿洲に於ける含有量は原鑛一噸中に約金一ペンニーを含有するものもあり而して支那の産金鑛は二十一萬兩にして滿洲は十二萬兩内外に上り北滿洲の一隅に於ける一箇年の産金價格實に三百萬兩の巨額に達すと

▲**鐵** 某技師の調査によれば支那に於ける鐵鑛採取年額は約七億噸にして産額は本溪湖七萬五千噸鞍山及び漢冶萍は略十五萬噸の豫想なり又鍊鐵年産額約五十萬噸の半は實に山西省の産に拘り十七萬噸は本邦に輸出さる又生鐵の産額も三十萬噸内外なりと

▲**石炭** 支那の石炭蓄積量は極めて大にして年々十億萬噸を採

掘するも尙優に一千年を支ふべしと稱せらる就中直隸、山西、山東、河南、滿洲は最も豊富にして河南山西は多くの無煙炭を産す而して國內の用途に供するは僅に二千萬噸内外に過ぎず主要炭坑の同産額は撫順八千噸開原一萬四千五百噸萍鄉三千噸なるが千九百十七年秦皇島より輸出せる炭量は百四十四萬二千噸に上り

●**明礬** 支那に於ける明礬の用途に染色、製革、漂白等に使用する外飲料水の清澄用として使用するゝこと大なり各省概ね之を産せざる無く其優良なるものに至りては彼の羅馬産と匹敵す年額略一萬三千噸にして其の半は温州寧波の産に係り日本に輸出さるゝものは多く染色用なり

●**安質母尼** 世界に於て使用する安質母尼の大半は實に支那の産出に係り湖南廣東及び西南諸省就中湖南の産最も良好にして百分中九十五位を占む輸出品は主として粗鑛にして千九百十七年の輸出は粗鑛純鑛を併せて約四萬噸なりと

●**石綿** は多く四川省に産し滿洲にては日本人の經營せる會社あり廣東湖北兩省よりも之を産す

●**鉛** 支那に於ける最大の鉛鑛は湖南の水口山なり該山は二十年來生鉛五萬噸と亞鉛十三萬六千噸を産し坑夫五千人を使用し其他雲南東莊の鉛鑛も又有名なり

◎支那の産炭額

昨年中支那全國に於ける石炭の概算産出額に付有名なる某鑛山技師か所有する資料に依りて調査したる結果左の如し

滿洲 蒙古 三、〇〇〇 直 隸 四、〇〇〇

山西	四、二五〇	陝西	甘肅	一、〇〇〇	
山東	一、〇〇〇	江蘇	安徽	浙江	一〇〇
河南	一一、〇〇〇	湖北	湖南	三〇〇	
四川	五〇〇	江西	西	一、二〇〇	
福建	廣東	六〇	廣西	貴州	三五〇
雲南	三〇〇	合計	一七、一六〇		

此内七、〇〇〇、〇〇〇噸は無煙炭にして其中三、〇〇〇、〇〇〇噸は骸炭製造に適するものなりと云ふ支那にして新式文明の機械を用ひ完全なる採掘方法を執るに於ては此數字は決して問題にあらざるは云ふ迄もなし

◎中日實業の増資

中日實業公司は設立以來其事業が永久的對支投資に在るを以て今日迄利益を見るに至らざりしが今期を以て略事業も一段落を告げ當決算期に於て二十八萬餘圓の利益を得るの好成績を擧げたるを以て三十日北京に於ける總會に於いて年六分の配當をなすことに決定したるが如く又當期迄に投資總額は二千二百餘萬圓に達し居りて今後益々著手すべき有利事業續出するの狀態なれば現時の資本額五百萬圓(拂込二百五十萬圓)にては事業經營に不便尠少なからざるを以て愈未拂資本二百五十萬圓の至急拂込完了するの必要を生じ日支兩株主に對し交渉中の處日本側株主の意嚮略拂込に決したれば目下渡支中の倉知副總裁は支那側全部拂込完了をなすこととせり尙ほ全部拂込完了の上は勢ひ増資を必要とすべき形勢にして結局は少くとも二千萬圓に増資せらるべしと

青島雜錄 (四月)

◎獨人と不動產 講和が如何なる條件の下に成立するやは今日之を斷言し難しとするも大凡そ落付く點は敢て想像に苦しまざる所、而して東洋に於ける獨逸唯一の足場たりし青島の如きも戰後根柢より獨逸勢力を覆して同胞勢力の之に代るべき事も當然の歸結なるべきが現に内地の收容所に在る俘虜等は此の必至の趨勢を洞察して釋放後の身の振方に就て青島を念中に置く者更になく孰れも其の所有不動產を擧げて之を賣却する意嚮なるが如く最近俘虜情報局に宛て民政部より照會したる回答に依るも此の邊の消息は最も明瞭に窺ひ得らるる由なるが唯だ賣却價格が如何にも高きに加へて銀取引なる爲め邦人の買收希望者多くは二の足を踏む有様にて實際には未だ賣買せらるるもの殆んど無之と云ふ因に獨人所有の私有家屋にして未處分のものは總計約二百を數ふる由なり

◎昨年度輸出鹽 我專賣局との契約に係る膠州灣鹽の前年度分納入は多少未了の物ある如きも先月末を以て一段落を告げ今年度の新契約は本月末か來月上旬に於て夫れ／＼輸入契約を締結さるる筈なるが昨年四月以降本年三月に至る十二箇月間の輸出數量を見るに二十萬三千四百四噸四と云ふ驚く可き數字を示せり而して右二十餘萬噸の内日本に仕向られたるものは十五萬六千七百五十三噸五朝鮮仕向四萬九千六十一噸四にして其他は浦鹽三千七百二十九噸七ニコラス千八百噸なり今各月の日本朝鮮輸出量を見るに左の如し(單位噸以下一位)

四 月 日 本 朝 鮮
二、八七三・〇 三、三一五・〇

五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	一 月	二 月	三 月
二、一〇二・〇	二、八二〇・四	二、六七〇・〇	九、八五〇・〇	五、一〇〇・〇	一、二四二・〇三	三三、一二三・〇	三九、〇〇〇・〇	一四、一五四・三	一〇、一八六・〇	一六、〇七〇・九
一、五一〇・〇	二、三八〇・〇	一、四五〇・〇	二、六三〇・〇	一、三五〇・〇	三、二五六・〇	三、九八一・五	七、五三〇・〇	四、一三五・〇	二、〇一〇・三	五、五一三・四

◎土地貸下規則改正 青島民政署にては今日迄の實狀に鑑み官有土地貸下規則の一部改正の必要に迫られ先般來調査中の處今回立案を了し目下民政署長の手許に於て査閲中なるが何れ司令官の決裁を経て軍令發布のこととなるべし改正の主要點は建築著手期限を短縮すると共に力めて土地の利用を敏活ならしむるに在り現行規則に於ては土地貸下後五箇月内に建築に著手すべき事を命じ居れるが五箇月の日子は餘り長きに過ぎ其間全く土地の利用を閑却するの嫌ひあれば之を三箇月位に短縮せんとするものにて之が改正は最も機宜に適したる措置と云ふべく之に依つて一部の利權者流を排除するの利益あるべし

◎英米煙工場増築 英米煙公司にては今回二十里堡工場の北西方に隣接せる土地約四萬八千坪を買收し近日中其工場の増築に著手し本年九月迄には竣成せしむる豫定の由なるが是に就き同公司が同工場に於て葉煙草の買付け選葉荷造等の外煙草の製造をもなす計畫ありと噂する者あれ共同公司員の聲明する所によれば現在の設備は甚だ狹隘にして殊に本年度に於ては前年度に比し二倍以上の葉煙草を買收する豫定なれば之に對する設備と

して増築するに過ぎず元來英米煙公司是アメリカカン、トバコ、エ
ンド、コムパニーとブリチツシユ、トバコ、エンド、コムパニー
の二部より成り各事業の分擔定まり居りてブリチツシユの方は
買付を爲すに過ぎず而して二十里堡工場は此ブリチツシユの方
に屬するものなれば是を以て觀ても煙草製造云々の如きは一種
の虚傳に過ぎざる事を了解し得べしと

●葉煙草輸送數量 三月中山東鐵道により輸送せられし葉煙草
の數量は一千零三十二噸三に達し昨年三月の九十六噸六に比す
れば九百三十五噸七の増加を示せるがこは英煙公司在二十里堡
に於て買付けたるものを青島に輸送すると最近南洋兄弟煙公司
及び東亞煙草株式會社が坊子に於て其買付をなし之を青島に輸
送するに至りしに依るものなりと

●市内鐵工所調査 青島民政署勸業係にては目下市内に於ける
鐵工所の調査に従事中なるが是に依れば現在當地には一、豐盛
公司鐵工所(伏波町)二、長谷川鐵工所(早霧町)三、天德鐵工所
(臺東鎮)四、庄司鐵工所(早霧町)五、永順鐵工所(臺東鎮)六、
德盛榮鑄造廠七、矢田鐵工所(白山町)八、永興爐(平度町)九、
今武鐵工所(大阪町)の九工場あり其職工數 (一)百三十五(二)
三十五(三)三十(四)二十七(五)十八(六)十六(七)九(八)八(九)
七にして賃銀は何れも銀三十錢乃至一圓なりと

●埋立工事進捗 既報大港附近に於ける約十三萬坪の土地埋立
工事は其後順調に進捗目下毎日約三百坪の地を埋立てつつある
が來月上旬には土砂運搬用のトロリーも目下の約三百臺より四
百臺に増加する筈にて其埋立坪數亦從つて増加し毎日約四百坪
となる見込なれば降雨季に於ける休業日數冬季に於ける休業日
數及び其他の休業日數を餘程多く見積りて六箇月と見るも其竣

成期たる九年九月末日迄には優に工事を終了する事を得べし
●石炭頒布狀況 山東省内に於ける鐵道部所屬以外の炭坑より
採掘せられたる石炭にして七年度中山東鐵道沿線各地に頒布さ
れたるものの數量は三十三萬五千五百五噸五にして今其炭種別
及び頒布驛の主なるものを擧ぐれば左の如し
●博山炭 總計 二二六、九五〇噸四

主なる頒布驛
●埠頭驛七〇、七二五〇 ●濟南驛五三、七四九・一 ●黃臺驛一四、八二五・五 ●青
州一四、二七九・〇 ●周村驛一〇、九九八・五 ●濰縣驛一〇、八〇六・三 ●張店一
〇、二二・五
●大崑崙炭 總計 七六、六九〇・八
主なる頒布驛
●周村驛一二、五〇九・〇 ●濟南驛二〇、四二五・〇 ●濰縣驛七、五四四・八 ●張店
驛六、二二五・〇 ●黃臺驛六、一三五・〇
●龍口炭(淄川驛發送のもの)總計一一、一九六・三
主なる頒布驛
●濟南驛一、七二五・〇 ●張店驛一、六二〇・〇 ●埠頭事務所一、二七〇・〇
●章邱炭 總計 一一、〇八一・〇
主なる頒布驛
●濟南驛五、四四一・〇 ●明水驛一、四五五・〇 ●黃臺驛一、三二〇・〇
●燐寸輸入夥多 青島に輸入さるる燐寸は青島明石兩工場の現
在生産高より推して一箇月七八百噸(才噸)の間にあるは常態に
して試に一、二兩月間の輸入數量を見るに

昨 年		本 月		比 較 減
一 月	二 月	一 月	二 月	
一、五六五・一	二、〇五五・〇	七三七・七	八二七・四	
		八六二・九	一一九二・一	

の數字を示し如何にも平穩無事を説明し居れり然るに三月上旬
に入てより意外の輸入あり之等内地の殺倒に依りて當市場は尠

なからず攪亂され稀有の滯貨を生ずるに至れるも這は一時的現象に過すと觀測されたるにも拘はらず四月上旬も又五百噸八の輸入額を現し加ふるに目前に梅雨期を控ふる等前途の混沌を思はしむるもの無きにしも非ず即ち左記三月及び四月上旬の輸入額は之に就て何事をか語りつゝあるに似たり

三月	中旬	同 下旬	四月上旬	昨 年		本 年		比 較
				六八三・五	四九八・〇	六二三・六	五九・九減	
同 中旬	四九八・〇	八八六・八	六八二・五	八八九・四	二四〇・四	三九一・四増	六四六・四減	
同 下旬	八八六・八	六八二・五	五二五・八	二四〇・四	一五六・七減			

●豆●粕●と●葉●煙●草● 山東鐵道が大正七年度中青島より沿線各驛に輸送せし豆粕の數量は一萬二百五十二噸なるが該豆粕は滿洲及び海州方面より青島に移入され主として坊子二十里堡濰縣等に向けて輸送され葉煙草の肥料として用ゐられしものゝ由にて今過去三箇年間に於て青島より發送せし豆粕の數量は坊子二十里堡及び濰縣より發送せし葉煙草の數量とを合せば左の如し

年 度 別	豆 粕	葉 煙 草
五 年 度	九二噸	一、二八一噸
六 年 度	六、二四	三、三九七
七 年 度	一、〇二五	一、三二〇五
合 計	一、〇九六八	一、七八八三

●輸●送●牛●頭●數●比●較● 七年度中山東鐵道が輸送せし生牛の頭數は二萬七千四百十五頭にして之を六年度の二萬五千七百四十三頭に比すれば一千六百七十二頭の増加なるが毎年山東鐵道によりて輸送せらるゝ生牛頭數の九割五分は青島に著し又此九割五分に對する八割は濟南より發送せらるゝものなりと

●青●銅●輸●送●激●減● 七年度中山東鐵道が輸送せし青銅の數量は九百五十四噸(別に青銅錢一千十二噸あり)にして六年度の二萬六

千八百八十五噸(別に青銅錢一千九百二十五噸あり)に比較すれば實に二十七割引の減少を示せるが其原因は云ふ迄もなく需要地に於ける需要減退による青銅價格の下落せると供給地支那の本位貨幣たる銀の暴騰せるとの爲めなりと

●鹽●田●許●可●付●數● 管内に於て獨逸時代及び我軍政時代等に開設を許可せられたる鹽田の面積は七百八十一付三通なるが民政施行以後三月末日迄に許可せられたるは大正六年の七千七百零四付七年の三千一百五十二付二通(内二百十五付は支那人に對して)八年の八百八十二付(内一百三十五付は支那人に對して)合計一萬一千七百三十八付二通なれば三月末日現在管内に於ける鹽田開設許可付數は總計一萬二千五百二十付一通なりと因に一付は我二町歩一通は其四分の一に相當すと

●建●築●規●則●改●正● 現行の建築規則は舊青島區並びに大鮑島區のみを施行地域となし臺西鎮臺東鎮及び其附近には之を適用せざる旨明示し居れるが近年市街地の膨脹發展を告げたる結果該規則適用區域外にも盛んに家屋の新築せらるゝと共に等しく青島市街として彼此擇ぶなき状態に在れば此の際該規則を改正して苟くも青島に接續する場所には總べて之を適用し兼ねて大青島の市街計畫に基き工業地、商業地、住宅地並びに苦力部落等此の間に截然たる區別を定めて其適用を按配すべく目下規則改正に就て審議中なりと聞く

●發●電●所●二●期●擴●張● 當發電所の第一期擴張に充てらる可き千二百キロワット發電機は川崎造船所にて製造目下一部分宛順次到着しつゝあり多分七月末頃には全部の据付を了して試験運轉の運びに至るべきが青島並びに附近の人口増加し事業の勃興に伴ふ電力の激増は右擴張竣成後に於ても供給不足の虞あるを以て

發電所にては更に第二期計畫を立て之に要する經費は四十一議會の協賛を経ると共に二千百キロワット發電機は瑞典に注文を發し來年一月中に到著の契約なりと云へば全部完成の曉には發電力は現在の八百キロワットより四千百キロワットに増加すべし

●水道擴張工事 大正七八の兩年度に亘りて實行する事に決定したる水道擴張工事は七年度に於て水源地附近の地及び鐵管敷設敷地の買収を了り愈々其地均工事に著手する事となりたるが擴張工事の内容は當時既に報道せしが如く白沙河々流の仙家寨附近に水源地を構築し此處に十五個の井戸を掘鑿して之を延長約三里の鐵管を以て李村水源地に連絡せしむべき計畫にして竣成の上は此水源地のみより一日に約六千噸宛の送水を爲し得べき見込なれば之と現在水源地の送水量とを合すれば市中一日の上水需要額が一萬噸に達するも優に餘裕あるべしと因に此工事の竣成期は明年三月末日の豫定なるが凡て直營となす方針の由

●電力需要狀況 市内外の電力需要は依然旺盛にして單に燈用のみに就て見るも旬間に四百七十九燈(本月中旬)の増加を示し又動力用としても始終新申込絶わざる由なるが發電所にては事情の許す限り之等の需要に應ずる方針なるも現在の給電能力は到底其全部を充し能はず特に夜間は既に負擔過重の傾きあるを以て止む無く動力用の分を割て燈用に充てつゝある始末なれば十分需要者に満足を與ふるは目下擴張中の工事完成後を期せざる可らざるが中旬末現在取付燈數は十燭換算七萬八千六百五十三燈發動機は官私雙方を合して百九基二千九百馬力なりと

●大港埋立從業者 本月の大港埋立豫定數量は七千立坪にして

前月に比較し一千立坪の増加なるが現在使用のトロは百五十臺にして一臺に對し苦力四人なるを以て從業總數六百人に上れり而して五、六、七の三箇月は各一萬立坪埋立の豫定にて之が實行には更にトロ七八十臺増加の必要あるより既に三四箇月前滿洲に向つて注文を發したる由なれば多分本月中には到著すべく假に來月より二百三十臺を運轉すとせば苦力九百二十人を要する計算なり

●山東東部鹽政 山東鹽務稽核分所長ピアソン氏は新に中央に設置せらるべき全省鹽務警察署長に榮轉の事となり居り來月上旬就任の筈にて之と同時に山東東部十八縣も愈々民運民銷を撤廢され新に鹽政を施行さるゝ事となるべき由なるが同氏は二十六日出發十數名の騎馬護衛兵を從へて城陽より陸行山東角南部の民運民銷鹽主產地三縣に就き其製鹽狀況を視察すべく十八縣の鹽政は其結果を俟ちて實施せらるゝ事となるべしと尙該十八縣の鹽政施行は幾度か地方人民の反對に遇ひて果し得ず久しく問題となり居りしものにして前記三縣は其主產地として反對殊に甚しく既に昨年來實施に決定し居りながら地方民の之に反對して暴動を起す事一再ならず現に最近亦不穩の舉あるを傳へられ居る程なるも此等諸縣に施行さるべき鹽政は他の諸地方と異りて極めて寛大にして鹽稅の如きも他に比して五分の一に過ぎず殊に魚菜用鹽として使用せらるゝものに對しては其課稅も殆んど十分一にして一部の頑迷なる地方を除いては既に鹽政施行の避くべからざるを覺悟し鹽務警察も概ね其組織成りて鹽政施行期を俟ち居る狀態なれば多分今回は豫定の如く來月中には施行し得らるべく多少の遲延を豫期せざるべからずとするも遠からず實施の運びとなるべきや明かなりと

●棉花輸出● 當港棉花輸出は昨今漸く終末期に際せる事とて本年當初來大勢漸減歩調を辿り埠頭船積數量一月千三百三十五噸八を最多とし二月二百二十九噸九、三月四百七十七噸一を計上し四月は尙一層の減少期待せられつゝあるが前年八月より本年三月に至る一期間に於ける輸出數量合計一萬四千百三十三噸八を前年同期に比較するに實に一萬一千二百四十六噸二の超過を示せり月額詳細左の如し

今期	前期	今期	前期
八月 一、二六〇・二	一、〇三七・二	九月 九四九・一	五九五・六
十月 三、一八四・二	三九二・二	十一月 二、八二四・八	三八九・二
十二月 三、八七二・七	八七二・一	一月 一、三三五・八	二〇八・八
二月 二二九・九	一	三月 四七七・一	四四〇・四
合計 一四、一三三・八	二、七八七・六		

●青島麥程現況● 麥稈眞田取引は其集散中心地天津に移動せる爲め當市場は近來渺々しき商況を見る事能はざるが而かも尙目今出廻り旺盛期の折柄とて相等商談進められ最近怡和洋行の平均七耗幅披勉邊一箱九十四五兩見當にて百箱搦み買付けられしを始め同品六耗幅八十三四兩見當にて三井伊藤兩洋行に數百箱買付けられ跡引續き相應支那商側と引合はされつゝあるもの如し然して是等買付品の仕向地は大部分米國經由歐洲向なるものゝ如く本年當初來當港輸出高は一月三百四十三噸九、二月二百九十二噸三、三月百七十三噸なるが本月は前三月に比し輸出高多少の上鞘を示すべしと觀測せらる

●章邱出炭増加● 章邱縣埠村に於ける天源煤鑛公司其他の炭坑にては今猶舊式の採炭法を採用しつゝあれど數箇月以前迄一日に二百噸内外に過ぎざりし出炭量は現今にては六百噸の多きに上り明水棗園莊兩驛より濟南青島方面に向けて輸送されつゝあ

るが前記兩驛構内狹隘にして積込困難なる爲め日々六七車以上の輸送を爲す事能はず二十七日現在明水驛には一千四百七十噸棗園莊には四百二十噸の滯貨ありたり因に同地方に於ける各炭坑主は協同して目下明水驛附近に大貯炭場一個棗園莊驛附近に小貯炭場二個を新設中なりと

法 規

軍軍令第十五號

自轉車取締規則左ノ通定ム

大正八年五月四日 青島守備軍司令官 大島 健一

自轉車取締規則

第一條 自轉車ヲ使用スルトキハ他人ニ警戒ヲ與ヘ得ヘキ「ベル」又ハ其ノ他ノ音響器ヲ設備スヘシ

第二條 自轉車ニハ構造上所定人員ノ外乗車スヘカラス

第三條 夜間乗車スルトキハ車體ノ前方略易キ箇所ニ燈火ヲ點スヘシ

第四條 原動機ヲ有スル自轉車ノ構造ハ左ノ制限ニ依ルヘシ

一、完全ナル制動機及速度ヲ調節シ得ヘキ裝置ヲ有スルコト

二、瓦斯、石油其他暴發性又ハ可燃性物ノ容器ハ堅牢ニシテ漏洩又ハ危險ノ虞ナキモノタルコト

第五條 自轉車ノ使用者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、乗車中同時ニ兩手ヲ「ハンドル」ヨリ離スヘカラス

二、街角、橋上、阪路又ハ狹隘若ハ交通頻繁ナル場所ヲ乗車通行スルトキハ音響器ヲ鳴ラシ徐行スベシ但シ急斜ノ阪路ニ在リテハ下車スヘシ

三、歩行車又ハ牛馬諸車ヲ追越サムトスルトキハ音響器ヲ鳴

ラシ警戒ヲ與フヘシ

四、交通ノ妨害ト爲ルヘキ物件ヲ攜帶シテ乘車スヘカラス

五、道路其ノ他交通ノ妨害ト爲ルヘキ場所ニ於テ乘車ノ練習

競争又ハ曲乘ヲ爲スヘカラス

六、十歳未満ノ者ヲシテ前號ノ場所ニ於テ乘車セシムヘカラ

ス

七、軍隊其ノ他ノ隊伍行列ヲ横斷スヘカラス

八、和服ヲ著シ乘車スルトキハ袴又ハ股引ノ類ヲ著用スヘシ

第六條 憲兵分隊長ハ交通上危險ノ虞アリト認ムル自轉車ノ使

用ヲ制限スルコトヲ得

第七條 憲兵又ハ巡捕ニ於テ必要アリト認ムルトキハ乘車者ニ

對シ一時下車ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 本令又ハ本令ニ基ク命令ニ違反シタル者ハ三十日未満

ノ監禁又ハ二十圓未満ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍令第十四號

山東鐵道沿線ニ於ケル鹽取締規則左ノ通定ム

大正八年五月一日 青島守備軍司令官 大島 健一

山東鐵道沿線ニ於ケル鹽取締規則

第一條 山東鐵道沿線ニ於テハ本令ニ依ルノ外鹽ヲ輸送、販賣

授受、所有又ハ所持スルコトヲ得ス

第二條 山東鐵道ニ依ル原鹽ノ輸送ハ山東鹽務官署ニ於テ發給

セル護照ニ據ルヘシ

第三條 精製白鹽及紅鹽ノ輸送ハ濟南駐在帝國領事ニ於テ發給

シ山東鹽務官署ニ於テ副署セル護照ニ據ルヘシ

第四條 精製白鹽及紅鹽ヲ販賣セムトスル者ハ民政署長ニ願出

テ許可ヲ受クヘシ紅鹽ヲ家用ニ供セムトスル者亦同シ

第五條 本令ニ違反シタル者ハ一月以下ノ監禁又ハ五十圓以下

ノ罰金ニ處ス

本令ニ違反シテ所有又ハ所持スル鹽ハ之ヲ沒收ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ膠州灣租借地ニ之ヲ適用ス

青島民政署告示第八號

在留日本人風紀取締ニ關スル件

第一 公衆ノ目ニ觸ルヘキ場所ニ於テ裸程、袒裼シ又ハ臀部股

部ヲ露シ其ノ他醜態ヲ爲スヘカラス

第二 街路ニ於テハ左ノ通心得ヘシ

一、襦袍、襯衣又ハ廣袖等ノ儘外出スヘカラス

二、頰冠又ハ尻紮ヲ爲スヘカラス

三、素足ノ儘通行スヘカラス

四、女子ハ廣帶ヲ締メサルヘカラス但シ少女ハ此ノ限ニ在ラ

ス

五、卑猥異様ノ服裝ヲ爲スヘカラス

六、前各號ノ外風俗ヲ紊ルカ如キ行爲アルヘカラス

大正八年四月八日 青島民政署長心得 早川 清

倫敦銀塊相場

(大正八年四月)

一	日	四十九片十六分九	十一日	四十八片八分七	廿一日	四十八片十六分五
二	日	四十九片十六分三	十二日	同	廿二日	四十八片八分七
三	日	四十八片八分七	十三日	日曜	廿三日	同
四	日	四十八片十六分九	十四日	四十八片十六分三	廿四日	同
五	日	四十八片八分七	十五日	同	廿五日	四十八片十六分三
六	日	曜	十六日	四十八片十六分五	廿六日	同
七	日	四十八片十六分三	十七日	同	廿七日	日曜
八	日	四十八片十六分五	十八日	同	廿八日	四十八片八分五
九	日	同	十九日	同	廿九日	四十八片十六分二
十	日	同	二十日	日曜	三十日	四十八片八分七

寄贈書類

(大正八年四月)
(中到著ノ分)

○天津商業會議所通報	自第一一三三號	天津商業會議所
○福井商業會議所月報	第九四號	福井商業會議所
○下關商業會議所月報	第八一號	下關商業會議所
○埠頭月報	大正八年二月分	青島守備軍民政部鐵道部埠頭事務所
○上海海報	自第三三三號	上海春申社
○青島ニ於ケル物價	大正八年二月	青島守備軍民政部
○開城新報	自第五五六號	開城新報社
○保險銀行時報	自第五九二號	東京保險銀行社
○上海經濟時報	自第五九二號	上海經濟時報社
○日本蠶業新報	第一〇八號	日本蠶業新聞社
○商業會議所統計日報	第一〇三號	四日市商業會議所
○橫濱商業會議所月報	第二六九號	橫濱商業會議所

○山東公論	第四三號 第四四號	山東公論社
○岡山南工彙報	第一三二號	岡山商工彙報社
○商業會議所々々報	第一四三號	名古屋商業會議所
○函館商業會議所々々報	第一五六號	函館商業會議所
○青島貿易統計	大正八年二月	青島守備軍司令部
○貿易通報	第一四二號	大阪經濟調查局
○經濟資料	第五卷 第四號	東京鐵工時報社
○鐵工時報	第五卷 第八號	神戶商業會議所
○神戶商業會議所時報	第五卷 第二號	仁川商業會議所
○仁川商業會議所月報	第一〇七號	上海日本商業會議所
○日本商業會議所週報	自第三六六號	上海遼東時報社
○遼東時報	第四月分	大阪日本紡績聯合會
○大日本紡績聯合會月報	第三一九號	南滿州鐵道會社
○滿洲山東ニ於ケル新日本鐵道海關鐵道ニ於テ	調查資料第七輯	總務部調查課
○內外商工時報	第六卷 第四號	農商務省商品陳列館
○東京商業會議所々々報	第十二號	東京商業會議所
○宇都宮商業會議所月報	第一七九號	宇都宮商業會議所
○平壤商業會議所月報	第二七號	平壤商業會議所
○大正六年天津貿易年報	第二七號	天津日本商業會議所
○通商彙報	第二五號	大阪府立商品陳列館
○朝鮮經濟雜誌	第三卷 第九號	京城商業會議所
○山東經濟時報	第二卷 第四號	山東經濟時報社
○日本綿花週報	第一四四號	日本綿花週報社
○東洋植民新聞山東版	自第一四七號	東洋植民新聞社
○熊本商業會議所月報	自第三三三號	熊本商業會議所
○滿蒙實業彙報	第四卷 第六號	大連商業會議所
○仙臺商業會議所月報	第六卷 第五號	仙臺商業會議所
○門司商工會月報	第七卷 第三號	門司商工會
○岐阜商報	第六卷 第三號	岐阜商業會議所

品名	建築物	單位	本月	前月	比較
胡石	粉材	十貫才	2,650	2,650	銀×
		一才	.400	.400	×
		一才	.450	.450	×
		一才	.600	.600	×
		一筒	.700	.700	×
煉瓦	類	千筒	9,000	10,000	△ 1,000
		日本型同	8,000	9,500	△ 1,500
		鱗瓦屋根瓦	30,000	30,000	×
		中葺屋根瓦	60,000	55,000	□ 5,000
		黑煉瓦	7,500	8,500	△ 1,000
木	材	手押煉瓦(支那型)	8,000	8,500	△ .500
		鴨綠江白松一連	23,000	25,000	△ 2,000
		同 同 二連	26,500	27,000	△ .500
		同 同 三連	30,000	30,000	×
		同 同 四連	30,000	32,000	△ 2,000
(蔬菜及果實)	柑類	同 赤松一連	29,000	30,000	△ 1,000
		同 同 二連	31,000	32,000	△ 1,000
		同 同 三連	32,000	34,000	△ 2,000
		大馬齡	2,500	2,800	金△ .300
		牛摩	4,500	4,800	△ .300
密(雜貨)	柑類	人參	11,200	11,200	×
		人參	3,800	4,000	△ .200
		人參	3,000	3,500	△ .500
		密(雜貨)	.150	.100	△ .050
		密(雜貨)	.150	.100	△ .050
綿	絲	一俵	169,500	161,000	兩□ 8,500
		一俵	167,000	158,000	□ 9,000
		一俵	168,000	159,000	□ 9,000
		一俵	175,500	170,000	□ 5,500
		一俵	174,500	167,000	□ 7,500
麻	袋	一枚	.350	.380	銀△ .030
		一	.330	.260	□ .070
		一	.280	.320	△ .040
		一噸	16,500	16,500	×
		一噸	15,000	15,000	×
石鹽	炭	一噸	12,000	12,000	×
		一噸	10,000	4,500	□ 5,500
		一噸	10,000	4,500	□ 5,500
		一噸	10,000	4,500	□ 5,500
		一噸	10,000	4,500	□ 5,500

品名		建物		單位	本月	前月	比較	
白高大小黃落麥	米	上滿同	海州	三一二三	百五十斤入斤	銀 5,900	銀 7,000	銀△ 1,100
						2,300	2,500	△ .200
						2,200	2,400	△ .200
						2,000	2,250	△ .250
						1,900	2,000	△ .100
	麥	同		等	"	3,500	4,300	△ .800
						3,200	3,300	△ .100
						6,700	6,700	×
						2,180	2,280	△ .100
						2,080	2,100	△ .020
花	豆	無兵同	船	殼一二三	品品品品品	1,400	—	—
						2,200	2,350	△ .150
						2,100	2,200	△ .100
						1,100	1,200	△ .100
						銀兩 24,300	銀兩 25,200	銀兩△ .900
	粉	同	綠	魚	品品品品品	銀 16,400	銀 13,000	銀□ 3,400
						11,300	10,300	□ 1,000
						2,900	2,650	△ .250
						.250	.250	×
						金 .200	金 .200	金×
棉落豆	花生	上中下			磅圓	.180	.180	×
						.160	.160	×
						銀元 .300	銀元 .300	×
						銀元 .300	銀元 .300	×
						金 15,000	金 13,000	□ 2,000
	油	大	大	中	筒斤	兩 33,000	兩 30,000	兩□ 3,000
						30,000	28,000	□ 2,000
						29,000	28,000	□ 1,000
						31,000	29,000	□ 2,000
						30,000	27,000	□ 3,000
雞	肉	上中下			"	29,000	25,000	□ 4,000
						37,000	35,000	□ 2,000
						36,000	34,000	□ 2,000
						35,000	33,000	□ 2,000
						銀 2,000	銀 1,700	銀□ .300
	卵	小	同	同	上中下	17,200	17,000	□ .200
						.650	.650	×
牛	皮	大	大	中	上中下			
牛	骨	小	同	同	上中下			
(建築材料)					百斤			
石					百斤	.650	.650	×

品名	建物	單位	本月	前月	比較
材	中櫓三寸四分ノ五分	一 枚	銀 230	銀 230	銀 ×
	大櫓三寸七分ノ七分	〃	330	330	×
	木 摺	壹 坪	1,000	1,000	×
	鹽 地 柚 角	一 才	130	130	×
	栓 柚 角	〃	130	130	×
	檜 柚 角	〃	130	130	×
	桂 角	〃	120	120	×
	櫻 角 { 樺 太	〃	130	130	×
	{ 內 地	〃	160	160	×
	(雜 貨)				
綿	菊花四十二手 撚絲	一 俵	銀 330,000	銀 290,000	銀 □ 40,000
	日 烏 二 十 手	〃	181,000	174,000	□ 7,000
	扇 面 十 六 手	〃	177,000	176,000	□ 1,000
	金 三 馬	〃	175,000	173,000	□ 2,000
	藍 魚	〃	177,000	177,000	×
綿	九 龍	一 疋	6,200	6,350	△ 150
	龍 C	〃	6,100	6,300	△ 200
	天 竺 太 鼓	〃	3,450	3,400	□ 050
燐	寸 得	一 大 箱	31,500	31,500	×
	雜 寶 牌	〃	31,000	31,000	×
	青 全 勝	一 箱	銀 5,600	銀 5,600	銀 ×
	赤 全 勝	〃	5,500	5,500	×
	美 美 阜 虎	〃	6,250	6,250	×
石	油 美 虎	〃	6,150	6,150	×
	亞 細 亞 僧 帽	〃	5,850	5,850	×
	幸 福 印	〃	6,200	6,200	×
	星 印	〃	6,300	6,300	×
	姪 の 濱 塊 炭	一 噸	17,500	17,500	×
石	炭 塊 炭	〃	17,500	17,500	×
	若 松 兵 船	一 俵	2,250	2,250	×
	綠 吉 小 丸	六 貫 俵	金 3,350	金 3,500	金 △ 150
木	炭 同 角 上	〃	3,250	3,400	△ 150
	同 角 淺	〃	3,050	3,200	△ 150
	丸 淺	〃	2,750	2,900	△ 150
(支 那 品)					
農畜產品及加工品					
白	米 上 海 一 等 等	百 五 十 斤 入	銀 8,000	銀 8,200	銀 △ 200
	同 二 等 等		6,600	7,500	△ 900

品名		建物	單位	本月	前月	比較
鯉	節	下	百	金 1,100	金 1,100	金×
		龜	"	1,200	1,200	×
		松	一 罐	.550	.550	×
		筍	"	.500	.550	△ .050
		鯉	"	.380	.380	×
		赤	"	.380	.380	×
		サ	エ	.450	.450	×
		ザ	"	.400	.380	□
		豆	一 升	.450	.450	×
		豆	"	.700	.700	×
罐	詰	麥	"	.380	.380	×
		麥	"	.360	.360	×
		角	割			
		花	割			
		元	"	.350	.350	×
		割	"	.370	.370	×
		"	"	.150	.150	×
		桶	"	1,500	1,500	×
		鑿	"	1,500	1,500	×
		片	"			
大小隱挽	元割	麥	一 罐			
		麥	"			
		栗	"			
		ト	"			
		ド	"			
		三	入			
		磅	"			
		"	"			
		"	"			
		"	"			
桶鑿片へラ	ツ	鐵	拾 貫	銀 4,650	銀 4,650	銀×
		鐵	一 枚	1,100	1,100	×
		板	"	2,520	2,520	×
		板	"	2,000	2,000	×
		板	"	2,280	2,280	×
		板	"	1,720	1,720	×
		板	"	2,100	2,100	×
		板	"			×
		板	"			×
		板	"			×
(建築材料)	鐵	5//8//—3//4// 平均	拾 斤	16,800	16,800	×
		十 三 入 3//6'	一 樽	3,300	3,300	×
		五 入 二 厘 3//6'	"	7,000	7,000	×
		平 板 #30—3'×6'	"	6,000	6,000	×
		" #26—3'×6'	"	1,100	1,10	×
		" #303—'×6'	"	1,600	1,600	×
		" #26—3'×6'	"			×
		"	"			×
		"	"			×
		"	"			×
丸鐵	鉛	1//—5//	百 斤	3,300	3,300	×
		銅色A 二十八磅入	一 樽	7,000	7,000	×
		白鉛	"	6,000	6,000	×
		小 野 田	"	1,100	1,10	×
		普 四 分 板	一 坪	1,600	1,600	×
		二間 正 四 分 板	"			×
		" 正 六 分 板	"	2,400	2,400	×
		" 正 一 寸 板	"	3,900	3,900	×
		" 一 寸 五 分 角	一 本	.380	.380	×
		" 二 寸 角	"	.480	.480	×
亞鉛	板	" 二 寸ノ三 寸	"	.700	.700	×
		" 三 寸 角	"	1,000	1,000	×
		" 四 寸 角	"	1,760	1,760	×
		"	"			×
		"	"			×
		"	"			×
		"	"			×
		"	"			×
		"	"			×
		"	"			×
洋釘	木	阿部	一 本			
		セメント	"			
		木	"			
		木	"			
		木	"			
		木	"			
		木	"			
		木	"			
		木	"			
		木	"			

青島物價表 (三月卅一日)

□印騰貴 △印下薄 ×印保合

品名	建物	單位	本月	前月	比較
(食料品)					
白米	印特撰赤	一石	47,000	48,000	金△ 1,000
	"	"	45,000	46,000	△ 1,000
	"	"	44,000	45,000	△ 1,000
	特撰一	"	53,000	53,000	×
糯米	"二	"	52,000	52,000	×
清酒	白真	四斗五升入一樽	57,000	57,000	×
	東正	"	53,000	53,000	×
	キリ	"	49,000	49,000	×
	アサ	四打入一箱	15,000	15,000	×
ビール	サツ	"	14,500	14,500	×
	ボ	"	14,500	14,500	×
飲料	サ	"	12,500	12,500	×
	ク	"	7,800	7,800	×
	シ	"	9,500	9,500	×
	ト	"	9,500	9,500	×
茶	三ツ	一	1,100	1,100	×
	喜	斤	.600	.600	×
	正	"	.500	.500	×
	青川	"	.200	.200	×
砂糖	白中	"	.190	.190	×
	龜	"	6,500	6,500	×
	甲	一斗入一樽	6,300	6,300	×
	甲	"	.150	.150	×
醬油	龜	百	.200	.200	×
	澤	目	.400	.400	×
	梅	"	.150	.150	×
	奈	"	.300	.350	△ .050
漬物類	樂	"	2,500	2,500	×
	干	"	.280	.280	×
	椎	"	.250	.250	×
	昆	"	.200	.200	×
乾物類	凍	十	2,500	2,000	□ .500
	豆	個	.1200	.800	□ .400
	菊	"	1,300	1,300	×
	莢	"	1,200	1,200	×
錫	劍	百	2,500	2,000	□ .500
	二	"	.1200	.800	□ .400
	上	"	1,300	1,300	×
	中	"	1,200	1,200	×

國籍	男女別	大連	神戶	門司	其 他	上 海	朝 鮮	芝 罘	臺 灣	天 津	浦 鹽	石 白 所	海 州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
露國 波蘭 諾威 佛國 合	男女	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	人	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	人	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	人	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	人	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
計	男女	14,801	158	431	270	77	705	1	1	63	257	106	295	101	22	77	17,355	
	人	1,052	129	258	38	8	58	—	—	1	5	3	97	18	—	3	1,670	
	計	15,853	287	689	308	85	763	1	1	64	262	109	392	119	22	80	19,035	

青島大港兩驛乘降客人員 (三 月 中)

驛別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青島港	108	129	61	837	23,599	41,523	23,768	42,489
	36	5	275	530	9,901	1,168	10,212	1,703
合 計	144	134	336	1,367	33,500	42,691	33,980	44,192
一月以降累計	328	284	963	2,096	56,553	78,307	57,844	80,687

青島屠獸場屠殺數 (四 月 中)

日次	牛	犢	豚	羊	山羊	計
一	245	—	68	2	2	317
二	107	—	57	3	—	167
三	252	—	51	1	—	304
四	230	—	84	2	—	316
五	244	—	56	1	—	301
六	208	1	28	—	—	237
七	91	—	29	1	—	121
八	232	—	35	1	—	268
九	166	—	33	3	—	202
十	197	—	53	5	—	255
十一	362	—	38	2	—	402
十二	25	—	28	3	—	56
十三	210	—	25	1	—	236
十四	11	2	27	2	—	42
十五	228	—	39	1	—	268
十六	307	—	43	14	—	364
十七	189	—	21	—	—	210
十八	253	—	53	1	—	307
十九	170	—	21	—	—	191
二十	66	—	28	—	—	94
廿一	108	—	22	2	—	132
廿二	262	—	44	2	—	303
廿三	216	—	25	2	—	243
廿四	375	1	58	2	—	436
合 計	4,754	4	966	51	2	5,777
一月以降累計	19,624	12	3,741	223	6	23,606

青島港出入船舶旅客表 (三月中)

●印ハ帆船出入旅客ヲ示ス

入 港 上 陸 ノ 部

國 籍	男女別	大連	大神門 阪戸司他	上 海	朝 鮮	芝 罘	香 港	浦 鹽	ア ブ ル	マ ニ ラ	石 臼 所	海 州	山 東 省	江 蘇 省	福 建 省	關 東 州	計
日 本	人	373	159	505	47	9	—	—	—	—	4	11	—	—	—	—	1,108
	男女	105	119	297	4	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	531
支 那	人	3,453	22	12	360	93	116	5	2	2,621	781	147	934	322	28	22	8,918
	"	584	—	—	18	6	16	—	—	—	34	4	147	77	—	—	886
英 國	人	2	—	1	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	7
	"	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
米 國	人	5	—	—	3	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	14
	"	3	1	—	5	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	12
露 國	人	4	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	"	3	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
和 蘭	人	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
波 蘭	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
葡 萄 牙	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	"	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	"	3,837	181	519	415	102	116	5	2	2,621	6	785	159	934	322	28	10,054
	"	697	120	297	33	12	16	—	—	—	3	34	4	147	77	—	1,440
	"	4,534	301	816	448	114	132	5	2	2,621	9	819	163	1,081	399	28	11,494

出 港 乗 船 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大神門其ノ他	上海	朝鮮	芝罘	臺灣	天津	浦鹽	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計	
日	本	人	287	127	403	52	7	5	1	—	—	1	10	—	—	—	—	893
		男女	105	129	257	12	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	506
支	那	人	14,507	31	27	195	70	700	—	1	63	256	95	295	101	22	77	16,440
		"	945	—	—	13	6	58	—	—	1	5	2	97	18	—	3	1,148
英	國	人	4	—	—	5	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	10
		"	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
米	國	人	—	—	1	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
		"	—	—	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7

仕 向 地		日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			和 蘭 船			支 那 船			計		
		隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
上 海	海 岸	19	16,262	4	10,084	—	—	1	1,119	1	281	—	—	—	—	—	—	—	25	27,746	—	—
芝 罘	天 津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其 他	支 那 沿 岸	1	962	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	962	—	—
臺 灣	山 東	13	923	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	71	14	994	—	—
釜 山	仁 川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釜 山	仁 川	8	2,370	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	2,370	—	—
仁 川	其 他 朝 鮮	4	1,732	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1,732	—	—
其 他	香 港	2	2,417	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2,417	—	—
マニラ	浦 鹽	—	—	2	5,695	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	5,695	—	—
其 他	外 國	—	—	—	—	4	8,941	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	8,941	—	—
浦 鹽	其 他 外 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	2,679	—	—	—	—	—	—	3	2,679	—	—
其 他	外 國	1	941	—	—	1	4,800	1	3,510	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	9,251	—	—
合 計		106	72,016	6	15,779	5	13,741	2	4,629	4	2,960	3	1,257	126	110,382							

入港汽船揚荷噸數國籍別 (三 月 中)

汽船國籍別		日 本 內 地				臺 灣	朝 鮮	大 連	上 海	芝 罘	天 津	其ノ他 支那港	香 港	其 他 外 國	計
		大 神	阪 戶	門 司	其ノ他										
日 本	本 國	7,978.4	4,735.6	—	—	76.8	133.2	2,067.6	8,539.9	15.2	—	203.7	1,703.0	96.7	25,550.1
英 米	國 國	—	—	—	—	—	—	—	954.4	—	—	—	1,709.2	—	2,663.6
和 露	國 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,332.3	3,332.3
支 那	國 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,363.2	2,363.2
支 那	國 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700.0	700.0
支 那	國 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	288.7	—	288.7
合 計		7,978.4	4,735.6	—	—	76.8	133.2	2,067.6	9,494.3	15.2	—	203.7	3,700.9	6,492.2	34,897.9

出港汽船積荷噸數國籍別 (三 月 中)

汽船國籍別		日 本 內 地				臺灣	朝鮮	大連	上 海	芝 罘	天 津	其ノ他 支那港	香港	浦鹽	マニラ	其他 外國	計
		大 神	阪 戶	門 司	其ノ他												
日 本	本 國	15,253.0	35,124.0	—	—	5,672.0	4,035.3	10,399.0	182.9	22.5	100.5	—	81.6	—	—	—	70,870.8
英 米	國 國	—	—	—	—	—	—	1,569.1	—	—	271.4	179.7	—	—	—	—	2,120.2
和 露	國 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	747.9	—	—	747.9
支 那	國 國	—	—	—	—	—	—	156.0	—	—	—	—	—	—	—	800.0	956.0
支 那	國 國	—	—	—	—	—	—	150.0	—	—	—	—	715.3	—	—	—	865.3
支 那	國 國	—	—	—	—	—	194.5	—	167.5	—	144.2	—	—	—	—	—	506.2
合 計		15,253.0	35,124.0	—	—	5,672.0	4,229.8	12,374.1	350.4	22.5	516.1	179.7	796.9	747.9	800.0	—	76,066.4

出入汽船及積卸貨物數量 (三 月 中)

區 別	汽 船 數			積 物 卸 噸 貨 數	一 月 以 降 累 計			積 物 卸 噸 貨 數		
	隻 數		登 簿 噸 數		隻 數		登 簿 噸 數			
	載貨船	空 船			計	載貨船			空 船	計
入 港	73	52	125	109,895	34,897.9	206	120	326	272,877	86,222.8
	100	26	126	110,382	77,494.7	267	58	325	272,211	208,248.8
計	173	78	251	220,277	112,392.6	473	178	651	545,088	294,471.6

備考 本表船積貨物中船用石炭ヲ含ム

出入汽船仕出仕向地別 (三 月 中)

入 港 ノ 部

仕 出 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			支 那 船			和 蘭 船			計		
	隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數	
日 本 內 地	42	35,097	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	35,097	—
大 連	22	15,395	1	895	—	—	—	1	382	—	—	2	4,629	26	21,301	—	—	—	26	21,301	—
上 海	17	12,883	3	3,779	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	16,662	—	—	—	20	16,662	—
芝 罘	—	—	—	—	—	—	—	1	1,511	—	—	—	—	1	1,511	—	—	—	1	1,511	—
天 津	—	—	1	1,223	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,223	—	—	—	1	1,223	—
其ノ他支那沿岸	13	857	—	—	—	—	—	—	—	1	71	—	—	14	928	—	—	—	14	928	—
臺 灣	1	962	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	962	—	—	—	1	962	—
釜 山	6	2,290	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	2,290	—	—	—	6	2,290	—
仁 川	3	1,769	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,769	—	—	—	3	1,769	—
香 港	2	2,150	2	11,098	—	—	—	—	—	1	882	—	—	5	14,130	—	—	—	5	14,130	—
マニラ	—	—	—	—	4	8,941	—	—	—	—	—	—	—	4	8,941	—	—	—	4	8,941	—
浦 鹽	—	—	—	—	—	—	1	281	—	—	—	—	—	1	281	—	—	—	1	281	—
其ノ他外國	—	—	—	—	1	4,800	—	—	—	—	—	—	—	1	4,800	—	—	—	1	4,800	—
合 計	106	71,403	7	16,995	5	13,741	3	2,174	2	953	2	4,629	125	109,895	—	—	—	—	125	109,895	—

出 港 ノ 部

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			和 蘭 船			支 那 船			計		
	隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數		隻數	登 簿 噸 數	
日 本 內 地	38	31,749	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	31,749	—
大 連	20	14,660	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,186	22	15,846	—	—	22	15,846	—

品 目	單位	日本内地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
豚油	噸	—	—	—	0.5	—	0.5
蓖麻子油	〃	49.9	—	—	21.1	—	71.0
其ノ他油類	〃	2.0	—	—	—	—	2.0
藥料及塗料	〃	1.0	—	—	19.5	—	20.5
綿絲	〃	141.9	—	—	263.7	—	405.6
絹絲	〃	0.1	—	—	23.4	—	23.5
絹屑	〃	—	—	—	13.1	—	13.1
麻	〃	—	—	—	20.8	—	20.8
棉花	〃	48.8	42.5	—	385.8	—	477.1
繭(屑ヲ含ム)	〃	3.4	2.8	—	—	—	6.2
綿布	〃	7.2	—	—	141.5	—	148.7
絹布	〃	—	1.6	—	42.8	2.0	46.4
麻袋	〃	—	—	—	—	—	—
紙類	〃	—	—	—	29.1	—	29.1
溜川炭	〃	8,985.6	—	—	500.0	—	9,485.6
博山炭	〃	60.0	—	—	6,240.0	—	6,300.0
撫順炭	〃	—	—	—	—	—	—
日本炭	〃	—	—	—	—	—	—
コークス	〃	5,257.0	—	—	—	800.0	6,057.0
陶磁器	〃	—	—	—	1.9	—	1.9
硝子及同製品	〃	—	—	—	49.2	—	49.2
鐵(古鐵ヲ含ム)	〃	298.1	—	—	0.4	—	298.5
眞鍮塊	〃	196.3	6.0	—	11.1	—	213.4
其ノ他金屬	〃	—	—	—	—	—	—
金屬製品	〃	0.6	0.4	—	292.9	2.2	296.1
機械	〃	0.1	—	—	5.3	—	5.4
車輛	〃	—	—	—	7.6	—	7.6
桐材	〃	652.6	3.0	—	—	—	655.6
其ノ他木材	〃	18.0	—	—	6.9	—	24.9
麥稈	〃	323.7	—	—	20.2	—	343.9
家具	〃	4.3	—	—	9.9	—	14.2
豆	〃	3,458.9	44.2	—	—	—	3,503.1
燐	〃	—	—	—	—	—	—
メソト	〃	—	—	—	4.1	—	4.1
石油	〃	—	—	—	—	—	—
小麥	〃	6,449.2	—	—	—	—	9,449.2
貴重品	〃	—	—	—	0.5	—	0.5
其ノ他	〃	1,465.1	0.7	—	315.5	14.1	1,795.4
合 計	〃	50,377.0	5,672.0	—	17,492.9	2,524.5	7,6066.4

埠頭船積貨物噸數仕向地別 (三 月 中)

品 目	單位	日本內地	朝 鮮	臺、 灣	支 那	其ノ他外國	計
生 牛	噸	—	—	—	—	—	—
其ノ他動物	"	—	—	—	—	—	—
落 生 花 實	"	1,132.7	0.9	—	2,246.1	133.9	3,513.6
豆 類	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他穀類及種子	"	364.1	—	—	306.3	5.8	676.2
麥 粉	"	—	—	—	—	—	—
蔬 菜	"	45.0	3.0	—	4.6	107.0	159.6
果 實	"	0.7	51.1	—	79.3	40.6	171.7
核 子	"	—	—	—	0.4	—	0.4
白 砂 糖	"	—	—	—	—	—	—
赤 砂 糖	"	—	—	—	—	—	—
冰 砂 糖	"	—	—	—	—	—	—
鮮 魚 介	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他海產物	"	—	—	—	14.6	—	14.6
牛 肉	"	195.9	2.4	—	48.3	743.5	990.1
鹽 豚	"	—	—	—	—	2.1	2.1
其 他 獸 肉	"	—	—	—	4.3	—	4.3
豆 素 麵	"	—	—	—	2.5	—	2.5
鷄 卵 品	"	123.6	—	—	—	134.1	257.7
卵 製 品	"	7.5	—	—	82.3	—	89.8
麥 酒	"	0.4	—	—	269.5	—	269.9
其ノ他酒類	"	—	—	—	0.7	—	0.7
鹽	"	16,070.9	5,513.4	—	—	479.7	22,064.0
其ノ他食料品	"	10.9	—	—	17.1	1.6	29.6
煙 草	"	—	—	—	2.7	—	2.7
葉 煙 草	"	237.9	—	—	4,321.4	—	4,559.3
獸 骨 粉	"	219.5	—	—	—	—	219.5
骨 粉	"	610.0	—	—	—	—	610.0
牛 皮	"	490.1	—	—	7.1	—	497.2
其ノ他獸皮	"	0.1	—	—	0.8	—	0.9
羊 毛	"	—	—	—	—	—	—
豚 毛	"	—	—	—	10.3	—	10.3
落 花 生 油	"	3,234.1	—	—	1,341.0	52.5	4,627.6
豆 油	"	—	—	—	161.4	—	161.4
牛 油	"	209.8	—	—	141.5	5.4	356.7

品 目	單 位	日 本 內 地	朝 鮮	臺 灣	支 那	其 他 外 國	計
染料及塗料	噸	60.1	—	—	123.5	138.6	322.2
綿絲	"	1,020.6	—	—	2,153.4	—	3,174.0
絹絲	"	—	—	—	2.8	—	2.8
麻	"	—	—	—	1.0	—	1.0
棉花	"	1.6	—	—	22.3	—	23.9
綿布	"	482.6	—	—	620.0	—	1,102.6
絹布	"	1.9	—	—	0.6	—	2.5
麻袋	"	53.4	—	—	6.6	—	60.0
洋物雜貨	"	490.0	—	—	58.7	70.7	619.4
日本紙	"	58.2	—	—	1.2	—	59.4
洋紙	"	36.3	—	—	97.4	—	133.7
支那紙	"	—	—	—	1,740.2	—	1,740.2
石炭	"	50.0	—	—	200.0	—	250.0
セメント	"	504.5	—	—	53.6	—	558.1
煉瓦及瓦	"	9.4	—	—	0.3	—	9.7
陶磁器	"	106.2	—	—	6.0	—	112.2
硝子及同製品	"	206.6	—	—	7.5	—	214.1
鐵(古鐵ヲ含ム)	"	943.1	—	—	29.9	958.1	1,931.1
其 他 金 屬	"	45.6	—	—	65.7	7.1	118.4
金 屬 製 品	"	390.5	—	—	224.8	65.0	680.3
機 械	"	114.9	—	—	9.8	—	124.7
電 氣 用 品	"	70.5	—	—	17.8	—	88.3
車 輛	"	53.3	—	—	2.1	—	55.4
竹 材	"	2.8	—	—	1,439.4	—	1,442.2
木 材	"	2,309.5	—	—	1,099.3	—	3,408.8
燐 寸 材	"	699.2	—	—	177.3	—	876.5
燐 木 炭	"	181.1	—	—	35.5	—	216.6
蕤 家 具	"	153.2	4.8	—	49.0	—	207.0
豆 粕	"	2.2	—	—	6.2	—	8.4
阿 石 片	"	—	—	10.2	—	—	10.2
油 空 罐	"	559.7	—	—	24.0	—	583.7
箱 材 料	"	327.4	—	—	153.6	—	481.0
貴 重 品	"	0.2	—	—	0.6	—	0.8
其 他	"	557.5	16.7	—	447.2	377.2	1,398.6
合 計		12,714.0	133.2	76.8	11,780.8	10,193.1	34,897.9

埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 (三 月 中)

品 目	單 位	日 本 內 地	朝 鮮	臺 灣	支 那	其ノ他外國	計
白 米	噸	—	18.9	—	82.3	—	101.2
豆 類	"	0.8	0.8	—	6.4	—	8.0
高 粱	"	—	—	—	18.0	—	18.0
玉 蜀黍	"	—	—	—	—	—	—
小 麥	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他穀類及種子	"	1.3	1.0	—	1.4	—	3.7
麥 粉	"	—	—	—	786.8	—	786.8
蔬 菜	"	43.8	—	—	3.8	—	47.6
果 實	"	128.3	—	—	52.4	25.3	206.0
茶	"	6.8	—	—	220.6	—	227.4
白 砂 糖	"	—	—	66.6	—	—	66.6
赤 砂 糖	"	43.4	—	—	3.6	1,609.1	1,656.1
冰 砂 糖	"	15.1	—	—	—	26.6	41.7
鮮 魚 介	"	47.2	—	—	1.6	—	48.8
昆 布 及 海 草	"	3.7	—	—	—	—	3.7
其ノ他海產物	"	9.1	71.4	—	38.1	800.4	919.0
日 本 酒	"	73.0	1.0	—	2.2	—	76.2
洋 酒	"	5.7	—	—	8.8	—	14.5
支 那 酒	"	—	—	—	21.1	—	21.1
麥 酒	"	21.5	—	—	—	—	21.5
清 涼 飲 料	"	24.0	—	—	—	—	24.0
醬 油	"	21.3	2.3	—	9.0	—	32.6
味 噌	"	1.9	2.3	—	9.3	—	13.5
其ノ他食料品	"	300.1	2.4	—	144.4	114.5	561.4
煙 草	"	415.0	11.6	—	899.6	—	1,326.2
皮 革 類	"	1.6	—	—	4.1	14.9	20.6
石 油	"	22.0	—	—	—	5,695.5	5,717.5
桐 油	"	—	—	—	186.3	—	186.3
其ノ他油類	"	20.6	—	—	14.3	—	34.9
蠟 燭	"	0.2	—	—	26.4	—	26.6
石 鹼	"	79.1	—	—	33.1	—	112.2
藥 品	"	183.0	—	—	298.9	290.1	772.0
磷 寸	"	1,753.3	—	—	—	—	1,753.4

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
獸 骨	發着	337.3	—	253.8	—	15.4	—	606.5
牛 皮	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
豚 皮	"	94.6	20.0	22.1	—	69.5	—	206.2
魚 類	"	32.6	0.9	—	—	—	—	33.5
昆布其ノ他海草	"	368.5	31.1	—	—	200.0	—	599.6
幕	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
木 粉	"	—	—	6.0	—	560.5	—	566.5
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	—	—	—	—	—	—
燐 寸	"	1,891.3	12.6	4.7	—	77.8	—	1,986.4
燐 寸 材 料	"	120.2	2.4	0.4	—	—	—	123.0
火 藥 類	"	310.1	0.7	26.5	—	30.0	—	367.3
銅 貨	"	—	—	—	—	180.0	—	180.0
青 銅 錢	"	—	—	—	—	—	—	—
銅 家 具	"	—	—	—	—	—	—	—
麻袋及布袋	"	—	2.8	—	—	6.0	—	8.8
容 器 類	"	1.0	0.2	—	—	—	—	1.2
鷄 其ノ他	"	1.3	4.7	—	—	—	—	6.0
豚 羊 驪及驢馬	"	—	1.1	—	—	—	—	1.1
馬	"	73.8	51.2	40.3	—	5.0	—	170.3
牛	"	2.3	2.2	1.0	0.1	—	—	5.6
合 計	"	0.4	2.6	—	—	—	—	3.0
	"	28.5	1.8	—	—	11.9	—	42.2
	"	4.9	3.6	—	—	—	—	8.5
	"	—	1.1	—	—	—	—	1.1
	"	54.4	21.5	84.0	—	44.9	4.2	209.0
	"	39.3	7.7	523.8	7.0	39.4	0.1	617.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	1	—	—	—	—	—	1
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	20	—	—	—	—	—	2.0
	"	3,027	—	—	—	—	—	302.7
合 計	"	7,439.7	323.4	1,688.2	—	3,435.4	8.0	12,894.7
	"	6,472.4	145.2	6,379.6	11.2	17,413.1	0.1	39,421.6

備考 埠頭荷扱所一車扱中 43.9 小口扱中 3.7 ハ連絡貨物ヲ含ム

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
油 類(表中記載ノモノヲ除ク)	發 著	37.3 3.7	1.3 2.5	0.9 42.3	—	—	1.0	40.5 48.5
油 船	"	—	—	—	—	—	—	—
肥 料 各 種	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
麥 稈 眞 田	"	—	—	—	—	—	—	—
安 平	"	142.9	0.9	—	—	—	—	143.8
葉 及 粟 稈	"	181.1	0.1	—	—	—	—	181.2
鹽	"	20.9	0.1	—	—	—	—	21.0
砂 糖	"	—	—	—	—	360.0	—	360.0
日 本 酒	"	839.9	2.1	81.6	—	360.0	—	1,283.6
ビ ー ル	"	—	11.9	—	—	—	—	11.9
支 那 酒	"	—	3.9	2.1	—	—	—	6.0
食 料 品(表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
乾 物	"	2.6	14.2	1.0	—	—	—	17.8
野 菜	"	4.2	27.3	0.5	—	—	—	32.0
鷄 卵	"	15.2	4.1	—	—	—	—	19.3
藍 塗 料	"	—	2.6	—	—	—	—	2.6
藥 品 及 藥 材	"	3.6	—	—	—	—	—	3.6
曹 達	"	—	0.5	—	—	—	—	0.5
石 鹼	"	102.6	9.5	19.4	0.2	—	—	131.7
煙 草	"	7.1	25.5	109.6	0.2	—	—	142.4
葉 煙 草	"	—	—	—	—	—	—	—
茶 葉	"	0.4	2.2	—	—	—	—	2.6
豚 毛	"	22.8	0.5	15.0	0.1	29.5	—	67.9
羊 毛	"	14.9	12.7	—	—	—	—	27.6
	"	—	2.0	—	—	—	—	2.0
	"	—	1.3	—	—	27.0	—	28.3
	"	69.4	1.5	5.0	—	2.3	—	78.2
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	77.8	33.5	—	—	42.5	1.1	154.9
	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
	"	—	1.8	14.5	—	509.3	—	525.6
	"	60.1	0.9	—	—	—	—	61.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	0.9	0.7	—	—	—	—	1.6
	"	—	—	—	—	—	—	—

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
麥 粉	發 著	1.3 259.1	0.8 —	0.2 0.2	— —	— —	— —	2.3 259.3
陶 磁 器 及 土 器	"	—	1.5	—	—	—	—	1.5
	"	85.8	0.1	26.5	—	—	—	112.4
支 那 紙	"	249.1	0.1	13.3	—	21.5	—	284.0
	"	—	0.7	0.4	—	—	—	1.1
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	17.2	0.8	—	—	—	—	18.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
麻	"	—	0.8	—	—	—	—	0.8
	"	42.0	—	—	—	—	—	42.0
綿	"	1.6	0.2	10.9	—	19.5	0.3	32.5
	"	117.1	—	42.0	—	23.0	—	182.1
綿 布	"	415.7	8.5	—	—	148.8	—	573.0
	"	0.5	5.6	—	—	—	—	6.1
綿 絲	"	1,589.0	19.7	38.4	—	4.4	—	1,651.5
	"	—	0.1	144.0	—	—	—	144.1
綿 製 品	"	—	3.9	—	—	—	—	3.9
	"	—	2.3	—	—	—	—	2.3
絹 絲 (屑ヲ含ム)	"	1.0	0.4	—	—	—	—	1.4
	"	6.1	2.5	—	0.2	—	—	8.8
絹 布 類	"	1.5	—	—	—	—	—	1.5
	"	4.7	19.9	—	—	—	—	24.6
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	5.0	—	7.3	—	12.3
棗	"	—	—	1.4	—	—	—	1.4
	"	53.0	—	—	—	—	—	53.0
梨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
乾 柿	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	11.1	—	—	—	—	—	11.1
胡 桃	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
蜜 柑	"	4.2	0.8	—	—	—	—	5.0
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
及 西 瓜	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜 子	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	1.2	0.5	—	—	—	—	1.7
果 實 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
	"	94.2	0.5	—	—	—	—	94.7
石 油	"	—	0.3	1,325.2	—	1,069.8	—	2,395.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
落 花 生 油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	89.1	—	1,147.8	2.0	8.9	—	1,247.8
豆 油	"	7.0	—	7.2	—	—	—	14.2
	"	7.6	—	147.6	—	—	—	155.2
牛 油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	67.6	2.4	70.2	0.1	—	—	140.3

青島驛發著貨物主要品 (三月中)

(單位噸以下一位獸類頭數)

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石炭	發著	596.5	0.2	15.0	0.1	90.0 4935.0	—	90.0 5,546.8
コークス	"	328.5	0.1	—	0.1	15.0 4,303.1	—	15.0 4,631.8
石灰	"	815.0	—	—	—	210.0	—	1,055.0
煉瓦 (瓦ヲ含ム)	"	—	—	4.4	—	—	—	4.4
	"	0.9	—	13.0	0.1	—	—	14.0
セメント	"	54.3	3.5	1.9	—	—	—	59.7
	"	29.5	—	88.7	—	14.9	—	133.1
硝子板	"	7.4	0.4	—	—	—	—	7.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
硝子製品	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
	"	36.7	0.9	—	—	—	—	37.6
桐	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	24.3	—	277.5	0.5	—	—	302.3
木材 (板ヲ含ム)	"	377.8	11.7	6.1	—	49.5	—	445.1
	"	—	15.7	0.5	307.9	—	—	324.1
竹及割竹	"	43.1	0.2	—	—	108.9	—	152.2
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
石材及同製品	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
鐵板鐵製品	"	36.1	16.9	—	—	357.0	1.4	411.4
	"	5.1	2.6	13.8	0.3	355.8	—	387.6
鐵鍋	"	21.8	—	—	—	—	—	21.8
	"	75.3	—	—	—	—	—	75.3
古鐵	"	777.9	0.1	6.8	—	15.0	—	799.8
	"	67.9	—	7.1	—	—	—	75.0
大豆	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	49.4	—	14.6	—	—	—	64.0
豆類 (大豆ヲ除ク)	"	—	0.7	—	—	—	—	0.7
	"	58.1	—	—	—	—	—	58.1
高粱	"	—	—	14.4	—	—	—	14.4
	"	6.5	—	15.0	—	—	—	21.5
小麥	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	883.0	—	1,574.8	—	5,063.3	—	7,531.1
米	"	22.0	9.9	6.4	—	—	—	38.3
	"	865.9	0.8	417.6	—	88.2	—	1,372.5
穀類 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	2.6	0.1	14.5	0.2	267.4	—	284.8
落花生	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	573.2	0.4	1,028.1	—	1,086.2	—	2,692.9

品 目	單位	上	海	芝	罌	大	連	其	ノ	他	合	計
雲 齋 (同)	疋		370									370
土 布	擔		58									58
花 色 土 布	擔		7									7
綿 織 絲	擔		10,049									10,049
(雜 貨)	擔											
砒 石	個		649									649
竹 筴	担		159,000									159,000
竹 筴	"		1,062									1,062
筍	"		139									139
書 籍	"		106									106
蠟 燭	"		28									28
米	"		1,141				160					1,301
磁 石	"		1									1
紙 卷 煙 草	担		924				178					1,102
石 炭 (撫順開平)	噸		—				100					100
紙 扇	個		223,770									223,770
小 麥 粉 機 械 製	担		10,780									10,780
夏 布 粗 製	"		8									8
同 精 製	"		4									4
藥 桐 油	"		353					10				363
紙 一 等 品	"		1,472									1,472
同 二 等 品	"		1,054									1,054
同 錫 箔	"		5,134									5,134
同 其 他	"		953									953
同 糖 菓	"		460									460
三 蒸 酒	担		106									106
靴 綿 及 絹 製	雙		74									74
生 絲 白 黃	担		662									662
同 製 品	"		—									—
同 石 鹼 條 形 田	斤 担		573									573
麥 稈 真 (赤)	"		34				19					53
砂 糖 (白)	"		—		23							23
同 茶	"		—									—
煙 草 刻 品	"		662									662
木 製	"		40									40
	"		220									220

品 目	單 位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
藥 豆	担	—	—	—	17	—	2	22	—	41
油	"	—	—	—	—	—	1,400	500	—	1,900
落 花 生 油	"	31,940	—	—	450	—	5,120	—	1,671	38,881
梨	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹽 豚	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹽	担	401,920	499	—	—	—	—	—	—	402,419
杏 仁	担	—	—	—	10	—	—	24	7	41
瓜 子	"	—	14	—	—	—	—	61	—	75
胡 麻	"	—	—	—	—	—	—	11	—	11
生 絲 白 座 操	"	—	—	—	—	—	—	3	—	3
同 白 再 操	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 白 機 械	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 黃 座 械	"	3	—	—	—	—	—	83	—	86
同 黃 再 操	"	—	—	—	—	—	—	3	—	3
同 黃 機 械	"	—	—	—	—	—	—	7	—	7
屑 絲	"	7	—	—	—	—	—	29	—	36
屑 繭 品	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生 絲 製	"	2	—	—	—	—	—	—	—	2
山 東 絹 綉	"	37	—	—	24	—	1	305	3	370
犬 皮	枚	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生 牛 皮	担	9,390	—	—	—	—	3	81	34	6,508
生 羊 皮	枚	40	—	—	—	—	—	470	—	510
麥 稈 眞 田 色 染	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 班 色	モノ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 白 色	モノ	883	—	—	—	—	9	5	48	945
牛 油	"	2,158	49	—	—	—	690	610	—	3,507
蔬 菜	"	23	385	—	—	—	—	—	—	408
豆 素	"	—	—	—	—	—	—	50	—	30
胡 桃	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羊 毛	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—

輸入支那品仕出地別 (同 上)

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿 製 品 類)						
シーチング(上海)	疋	6,325	—	—	—	6,325

品 目	單 位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
石 鹼 條	擔	289	—	—	—	—	72	—	—	361
同 化 粧 用	海關兩	4,805	—	—	—	—	1,394	574	—	6,773
曹 醬 達	担	21	—	—	50	—	122	55	—	248
醬 油	"	101	—	—	—	—	—	15	—	116
砂 糖 (赤)	"	—	—	—	26,224	—	—	—	—	26,224
同 (白)	"	108	—	—	—	—	—	—	—	108
同 精 製	"	1,823	—	—	1,500	—	—	—	—	3,323
同 冰	"	150	—	—	849	—	—	—	—	999
木 材 (堅)	立方呎	1,093	—	—	—	—	—	—	—	1,093
同 (軟)	"	7,263	—	—	—	—	—	16,859	—	24,122

輸 出 支 那 品 仕 向 地 別 (同 上)

品 目	單 位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生 豆	牛 頭	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黃 豆	担	50,885	—	—	—	—	—	—	—	50,885
牛 肉	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
獸 骨	クオタ	2,918	2,854	—	—	11,099	688	64	—	17,623
銅 塊	担	13,223	—	—	—	—	—	—	—	13,223
豚 毛	担	3,782	—	—	—	—	186	—	13	3,981
豚 毛	"	—	—	—	—	—	—	96	—	96
鹿 山 東	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
棉 炭	噸	18,130	—	—	—	—	150	6,569	—	24,849
錫 花	担	88	—	—	—	—	237	—	585	910
黑 棗	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蛋 白	"	39	—	—	—	—	—	198	—	237
蛋 黃	"	—	—	—	—	—	—	543	—	543
乾 蛋	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
雞 卵	個	651,560	810,350	—	—	6,000	—	—	—	1,477,910
麻 鹽	担	—	—	—	—	—	—	—	132	132
魚	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
果 物	鮮	—	131	—	—	—	—	—	—	131
硝 子	"	—	—	—	—	—	—	208	90	298
落 花	担	1	153	—	—	—	—	—	19	173
同 仁	個	8,838	—	—	2,749	—	—	11,852	24,311	47,750
頭 髮	"	24	—	—	—	—	—	—	—	24
麥 帽	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
セメント	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
磁石瓦器	海關兩	2,687	—	—	—	—	97	—	—	2,784
紙卷煙草	千本	—	—	—	—	—	15,495	—	—	15,495
同 (日本品)	〃	830	—	—	—	—	—	20	—	880
掛置時計	個	2,029	—	—	—	—	159	—	—	1,188
石炭	噸	980	—	—	—	—	—	—	—	980
(染料顏料塗料)										
アニリン	海關兩	31	—	—	—	—	11,033	—	—	11,067
人造藍	担	—	—	—	—	—	70	—	—	70
天然藍液狀	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白鉛粉	〃	—	—	—	413	—	30	—	—	443
越前幾斯	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電氣材料	海關兩	3,733	—	—	—	—	515	560	—	4,808
珉瑯洗面器	打	2,960	—	—	—	—	137	—	—	3,097
麥粉	担	15	—	—	—	—	—	—	—	15
窓硝子	箱	462	—	—	—	—	—	—	—	462
洋燈及洋燈器	海關兩	2,731	—	—	—	—	1,542	—	—	4,278
燐寸(黃燐)	哥	336,267	—	—	—	—	—	—	—	336,267
同 (安全)	〃	450	—	—	—	—	—	—	—	450
疊及莫座	枚	30,108	—	—	5,586	—	120	36	—	35,850
コンデンスミルク	打	156	—	—	—	—	348	20	—	524
針	千本	168,295	—	—	—	—	—	—	—	168,295
石油(米品箱入)	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	997,098	—	—	—	—	—	997,098
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スマトラ(裸)	〃	—	—	—	—	707,112	—	—	—	707,112
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	〃	19,400	—	—	—	—	—	—	—	19,400
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙	担	305	—	—	41	—	1,023	—	—	1,369
胡椒	〃	—	—	—	144	—	5	—	—	149
米	〃	325	—	—	—	—	—	—	—	325
昆布	〃	48	—	—	673	—	—	—	—	721
日本酒	〃	450	—	—	—	—	—	20	—	470

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	計	合
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	—	—	2,658	—	—	—	2,658
同 (日 本)	〃	6,631	—	—	—	—	99	—	16	—	6,746
綿 縫 絲(絲卷)	哥	1,321	382	—	—	—	375	—	—	—	2,078
(毛綿交織類)											
ユニオン及ボンチ	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヨークローズ											
(毛製 品 類)											
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	〃	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
伯林ウール及毛絲	担	2	—	—	—	—	6	—	—	—	8
(雜貨織物類)											
絹 製 品 交 織	斤	1,029	—	—	—	—	167	—	—	—	1,196
(金 屬 品)											
片	担	5	—	—	—	—	—	—	—	—	5
線	〃	29	—	—	—	—	41	—	—	—	70
銅 板	〃	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2
鐵及軟鐵 (新)											
條	担	670	—	—	42	—	113	141	—	—	966
屑 鐵 及 屑 鐵 線	〃	—	—	—	315	—	280	—	—	—	595
籠	〃	—	—	—	25	—	42	—	—	—	67
條	〃	2	—	—	—	—	41	—	—	—	43
釘 用 竿 鐵	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ワイヤー)	〃	6	—	—	493	—	605	—	—	—	1,104
片 及 板	〃	24	—	—	—	—	17	—	—	—	41
線	〃	22	—	—	56	—	49	—	—	—	127
鐵 及 軟 鐵(古)	〃	7,900	—	—	16,500	—	646	—	—	—	25,055
鍍 金 鐵 片	〃	90	—	—	—	—	—	—	—	—	90
鉛 塊	〃	—	—	—	92	—	896	—	—	—	988
鋼 鐵	〃	7	—	—	—	—	104	—	—	—	111
葉 鐵	〃	—	—	—	—	—	13	—	—	—	13
白 銅 片 及 線	〃	—	—	—	—	—	5	—	—	—	5
(雜 貨)											
麻 袋	〃	153,811	—	—	2,500	—	34,800	—	—	—	191,111
麥 酒	〃	—	—	—	—	—	130	—	—	—	130
綿 帶	〃	10,843	—	—	—	—	2	22	—	—	10,867
パ タ ー	〃	3	—	—	—	—	11	—	—	—	14
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥	4,222	—	—	—	—	—	—	—	—	4,222
蠟 燭	担	281	—	—	—	—	—	—	50	—	331

青島輸出入貿易 (三月中)

—海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片 (綿製品類)	担	7,50	—	—	—	—	—	—	—	7,50
生金巾	疋	13,880	—	—	—	—	5,372	—	180	19,932
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	80	—	—	80
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	3,950	—	—	3,950
同 (日本品)	"	210	—	—	—	—	2,950	—	—	3,160
晒金巾	"	3,511	—	—	—	—	11,342	—	—	14,853
綾金巾	"	—	—	—	—	—	1,461	—	—	1,461
雲齊布(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	540	—	—	540
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	100	—	—	100
シェーン(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	80	—	—	80
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	240	—	—	240
同 (日本品)	"	650	—	—	—	—	1,350	—	—	2,010
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	15,673	—	—	15,673
同 (日本品)	"	21,965	—	—	—	—	11,129	—	—	33,094
寒冷紗及綿紗	"	260	—	—	—	—	13,220	—	120	13,600
平織捺線染色各種	"	3,000	—	—	—	—	376	—	—	3,376
チンズ及平織更紗	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フリンテット	"	—	—	—	—	—	27	—	—	27
フワーネチュワー	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線綿襦子	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線天竺布	"	—	—	—	—	—	3,533	—	—	3,533
コットンイタリアン及ラッスイング	"	11,795	—	—	—	—	16,192	40	—	28,027
同平織染色	"	—	—	—	—	—	5,287	—	—	5,287
イーフトブラック	"	—	—	—	—	—	321	—	—	321
同綾	"	30	—	—	—	—	935	—	—	965
緋金巾及綿天竺	"	12,299	—	—	—	—	4,399	—	—	16,698
綿スパニシストラ イブ六十四吋	担	40	—	—	—	—	835	—	—	875
綿フランクネル	"	213	—	—	—	—	1,441	—	—	1,654
同フランクネット	"	2,059	—	—	—	—	46	—	—	2,105
手巾	打	3,000	—	—	—	—	825	—	—	3,825
タオル	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本産)	"	6,965	—	—	—	—	120	—	—	7,085

在現月五年八正大

青島實業協會會員

(定不序順)

會員		代表者	所在	會員		代表者	所在
岩城商會支店	田邊郁太郎	早舟町	江商株式會社青島支店	一宮晃	所澤町		
伊藤忠商事株式會社青島支店	淵田太郎	所澤町	安部幸兵衛商店青島出張店	副島高市	河南町		
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	所澤町	湯淺貿易株式會社青島出張所	小林乃	葉櫻町		
日本郵船株式會社青島出張事務所	近澤武男	葉櫻町	三井物產株式會社青島出張所	飯塚重五郎	所澤町		
日本綿花株式會社青島出張所	林田勇	北京町	南滿洲鐵道株式會社埠頭事務所青島出張所	內丸勇	葉櫻町		
東和公司青島支店	三宅駿二	北京町	峯村洋行	峯村正三	葉櫻町		
東亞煙草株式會社青島販賣所	西村義郎	北京町	合名會社鈴木商店青島出張所	金子慶治	北京町		
朝鮮銀行青島支店	常世克己	所澤町	中村組青島支店	原辰治	吳淞町		
大倉商事株式會社青島出張所	石橋藤次郎	早舟町	和盛公司	石本貫一	若葉町		
橫濱正金銀行青島出張所	太田保一郎	靜岡町	東洋鹽業株式會社青島支店	秋元定恭	大和町		
大連汽船株式會社青島出張所	松本文三郎	葉櫻町	泰利商會	松崎翠	早霧町		
大日本麥酒株式會社青島出張所	永井熙八	臺東鎮良通市外四方庄	山東興業株式會社	空閑知鷺治	早舟町		
內外綿株式會社青島出張所	佐々木國藏	北京町	吉澤洋行	吉澤千城	市場通		
山田出張所	山田三平	北京町	青島製粉株式會社支店	百溪深	三月月町		
三菱商事株式會社濟南出張所	關口嘉重	市場通	新利洋行出張所	古賀茂登吉	野山町		
茂木合名會社青島出張所	杉浦政芳	葉櫻町	梶野洋行	合田幸一	河南町		
神戶棧橋株式會社青島派出所	河南薰	早舟町	福昌公司青島出張所	千本木正治	若葉町		
山東運輸株式會社青島支店	神谷武松	葉櫻町	南昌洋行青島出張所	中村道三	葉櫻町		
日華協信公司青島支店	藤波茂時	北京町					

大正八年五月十八日印刷

大正八年五月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可
(每月一回二十日發行)

發行兼編輯者
印刷所
印刷所

青島靜岡町十番地吉見正任
青島靜岡町十番地青島實業協會
青島靜岡町十四番地足立孝
(實費銀參拾錢)